

平成 29 年度 大学 入学者 選 抜

大学入試センター試験 受験案内 29

出願期間 平成 28 年 9 月 27 日(火)
～ 10 月 7 日(金) (消印有効)

試験期日 平成 29 年 1 月 14 日(土)・15 日(日)

★ 障害等のある方への受験上の配慮を希望する場合は、「出願前申請」ができます。

出願前申請受付 平成 28 年 8 月 1 日(月)～9 月 26 日(月)

この「受験案内」は、大学の入学手続が終わるまで大切に保管してください。

はじめに【必ず読むこと】

この冊子には、「検定料の払込みなど、大学入試センター試験の出願の際に誰もが行わなければならない重要な手続」と「受験票の再発行申請など、いざという時に必要な手続」が解説されています。出願前に必ずこの冊子を精読し、出願手続や試験の制度について十分に理解するようにしてください。

1 志望大学の利用教科・科目の確認

大学入試センター試験に参加する大学は、入学志願者が大学入試センター試験において解答すべき教科・科目やその成績の入学選抜における取扱いなどを、それぞれ定めています。志望大学の募集要項等をよく確認して、大学入試センター試験を受験してください。

2 受験教科の事前登録

大学入試センター試験を受験するに当たっては、受験教科等について出願時に登録する必要があります(→p.13)。

登録を正しく行わないと、希望する教科等を受験することができませんので、制度の内容をよく理解した上で出願してください。

3 登録内容の確認

大学入試センターは、出願書類を受理した後、確認はがき(出願受理通知)を10月25日(火)までに届くように送付します。確認はがきは、大学入試センターに出願が受理されたことを通知するとともに、志願票記入事項のうち、受験教科等の特に重要な登録内容を記載したものです。受領後は直ちに登録内容に誤りがないかを確認してください(→p.26)。

万一、登録内容に誤りがある場合や、志願票への記入誤り等により登録内容の訂正が必要となった場合は、直ちに大学入試センターに届け出てください。

また、大学入試センター試験の受験票(12月14日(水)までに到着)にも登録内容を記載しますので、再度、確認してください(→p.30)。

4 リスニングで使用するイヤホンの確認

リスニングではICプレーヤーを使用し、イヤホンで音声問題を聴取しながら解答します。リスニング受験希望者はイヤホンが耳に合うかを事前に確認し、イヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時にイヤホン不適合措置を申請してください(→p.44)。

使用するイヤホンは、在学する(又は出身)高等学校等や大学入試センター試験に参加する大学で実際に試してみることができます。

なお、試験当日にイヤホンが耳に合わない申し出ても、対応しません。

5 障害等のある方への受験上の配慮

大学入試センター試験の受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法等について配慮を希望する場合は、受験上の配慮を申請することができます。

この受験上の配慮については、配慮内容によって審査に時間がかかる場合もあるため、出願前に申請(平成28年8月1日(月)～9月26日(月)まで)を受け付けます。受験上の配慮を希望する場合は、できるだけ出願前に申請を行ってください(→p.16)。

目次

A 試験概要	
1 平成29年度大学入試センター試験実施日程.....	2 ページ
2 出題教科・科目等.....	3
3 試験期日・試験時間割.....	5
B 出願	
1 出願資格と証明書類.....	6
2 出願期間と出願方法等.....	11
3 受験教科の事前登録.....	13
4 障害等のある方への受験上の配慮.....	15
5 成績通知.....	17
6 志願票の記入方法.....	18
7 検定料及び成績通知手数料の払込方法.....	24
C 出願後	
1 確認はがき(出願受理通知)～登録内容の確認.....	26
2 受験票・写真票・成績請求票.....	30
3 試験場の指定.....	32
4 出願後の各種手続.....	34
5 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮.....	38
D リスニング	
1 リスニングの概要.....	39
2 リスニング受験上の注意.....	39
3 リスニングの進行.....	40
4 ICプレーヤーの操作体験.....	43
5 イヤホンが装着できない場合.....	44
6 解答時間中の事故等と再開テスト.....	45
E 試験	
1 受験に当たっての主な注意事項.....	46
2 追試験及び再試験.....	50
F 試験実施後	
1 正解・平均点等の発表.....	51
2 得点の調整.....	51
3 試験成績の大学への提供方法.....	52
G その他	
1 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する選抜.....	53
2 志望大学に確認すること.....	53
3 個人情報の取扱い.....	54
H 高等学校等コード表	
1 高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校.....	55
2 高等学校卒業程度認定試験等、外国の学校等、文部科学大臣の指定した者、認定、在外教育施設、専修学校の高等課程.....	72

試験概要

出願

出願後

リスニング

試験

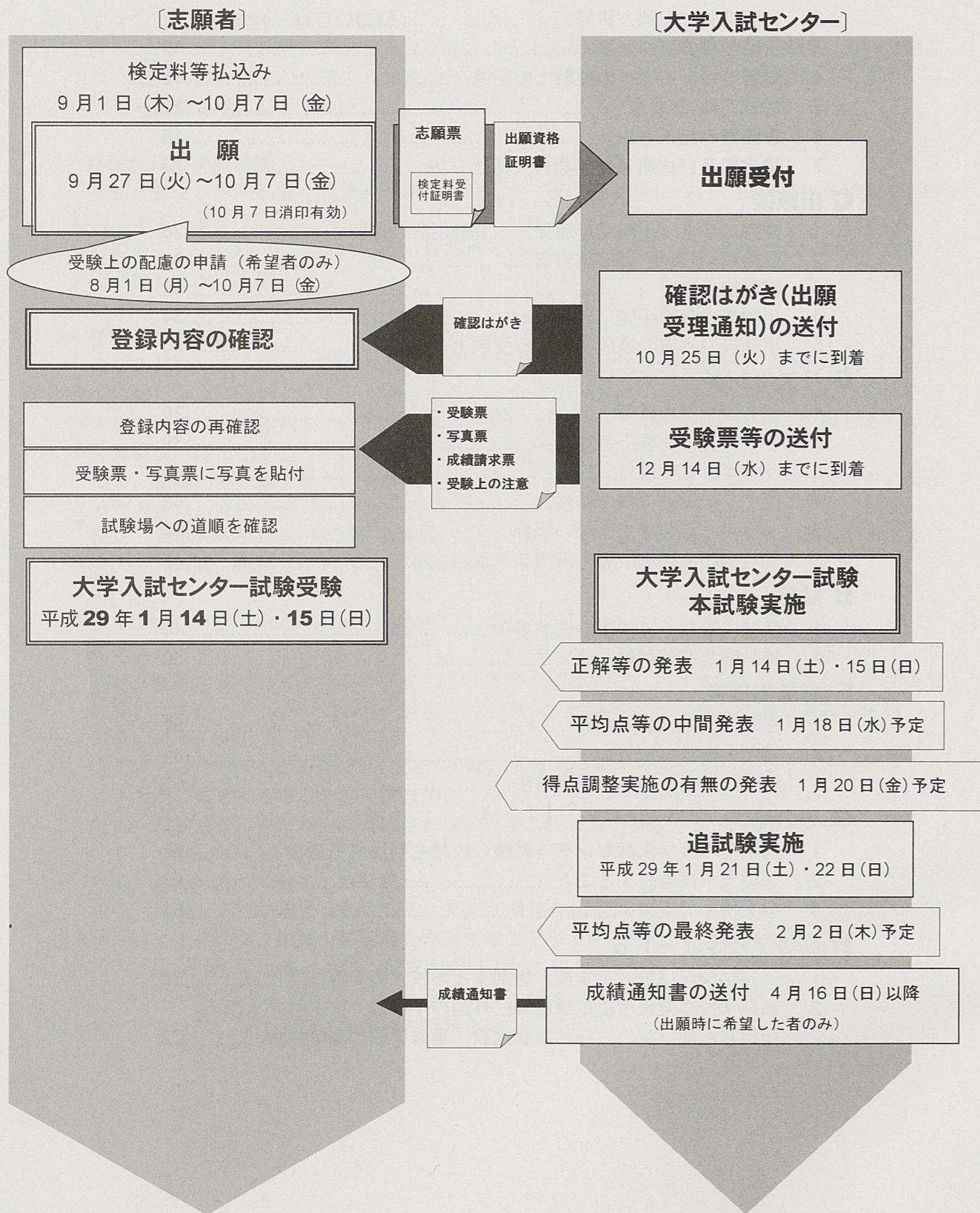
試験実施後

その他

高等学校等コード表

A 試験概要

1 平成 29 年度大学入試センター試験実施日程



2 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点) (→注1)
国語		「国語」	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。(→注2)		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	「倫理、政治・経済」は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。(→注3) なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注4)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			
数学	①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅰ・数学A」は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」※ 「情報関係基礎」※	「数学Ⅱ・数学B」は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕 「簿記・会計」は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。 「情報関係基礎」は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分(100点)
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点) (→注5)
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」には、一部に選択問題を配置する。	A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注4)
外国語		「英語」 「ドイツ語」※ 「フランス語」※ 「中国語」※ 「韓国語」※ (→注6)	「英語」は、「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	【筆記】 80分(200点) 【リスニング】 (「英語」のみ) 60分(うち解答時間30分) (50点)

- (注1) 国語及び外国語（「英語」を除く。）は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、筆記とリスニングに試験時間を分けます。
- (注2) 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問 100点)、古典(古文(1問 50点)、漢文(1問 50点))」とします。
なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。
- (注3) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せを指します。
- (注4) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行います。第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とします。
- (注5) 「理科①」については、1科目のみの受験は認めません。
- (注6) 外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行います。解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とします。
なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

3 試験期日・試験時間割

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間 (→注1, 2)
平成 29 年 1 月 14 日(土)	地理歴史 公 民	「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	2 科目受験 9:30～11:40 (→注3) 1 科目受験 10:40～11:40 (→注3)
	国 語	「国語」	13:00～14:20
	外 国 語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	【筆記】 15:10～16:30 【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
1 月 15 日(日)	理 科 ①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30 (→注4)
	数 学 ①	「数学 I」「数学 I・数学 A」	11:20～12:20
	数 学 ②	「数学 II」「数学 II・数学 B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」	13:40～14:40
	理 科 ②	「物理」「化学」「生物」「地学」	2 科目受験 15:30～17:40 (→注3) 1 科目受験 16:40～17:40 (→注3)

- (注1) 試験室への入室終了時刻については、受験票(→p.30)とともに送付する受験上の注意において指示します。
- (注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻(17:10)までに入室していない場合は受験することができません。
- (注3) 「地理歴史、公民」及び「理科②」については、登録した科目数(1科目又は2科目)によって試験開始時刻が異なります。「2科目受験する」と登録した場合は、試験当日に1科目のみを受験する(1科目だけ受験を取りやめる)ことはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度(「地理歴史、公民」は9:50、「理科②」は15:50)までに入室しないと、後半の第2解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第1解答科目のみ受験し、途中退室することもできません。
なお、第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は、トイレ等で一時退室することはできません(→p.46)。
- (注4) 「理科①」は試験時間60分で必ず2科目を選択解答してください。1科目のみの受験は認めません。

B 出願

1 出願資格と証明書類

平成 29 年度大学入試センター試験に出願できる者は、大学入試センター試験に参加する大学へ入学を志願し、下表のいずれかの出願資格に該当する者です。提出が必要な資格証明書は、下表のとおりです。

* 出願資格及び出願資格を証明する書類について疑問がある場合は、出願期間の前にできるだけ早く大学入試センター事業第 1 課 (→裏表紙) に問い合わせてください。特に外国の学校等の資格で出願する志願者は、出願資格の有無の確認等に時間を要する場合がありますので、早めに問い合わせてください。

出 願 資 格		資 格 証 明 書
「高等学校」(特別支援学校の高等部を含む)又は「中等教育学校」を平成 29 年 3 月卒業見込みの者		不要(学校長が一括証明)
「高等学校」(特別支援学校の高等部を含む)又は「中等教育学校」を卒業した者		卒業証明書(原本) *出身学校長が発行するもの *発行年月日は問わない *調査書・成績証明書は不可 *旧姓(名)の卒業証明書を使用する場合は、「婚姻により(旧姓)から(現姓)になった」などのように、姓(名)が変わった理由を証明書の余白に記載すること
「高等専門学校」第 3 学年を修了した者又は平成 29 年 3 月修了見込みの者		第 3 学年修了若しくは修了見込みの証明書又は卒業証明書(原本) *高等専門学校長が発行するもの
外国の学校等	外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又は平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者(→注 1-1)	当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類(Diploma など)のコピー *出身学校長が発行するもの *国や学校によっては、これ以外の書類の提出を求めることがある
	上欄に準ずる者(→注 1-2~1-5)	当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類のコピー *当該教育施設の長が発行するもの 又は検定の合格証書のコピー *検定試験実施機関の長が発行するもの
在外教育施設(→注 2)	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者	修了(卒業)又は修了(卒業)見込みの証明書(原本) *当該教育施設の長が発行するもの
専修学校の高等課程を卒業(修了)した者又は卒業見込み(修了見込み)の者(→注 3)		卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの証明書(原本) *専修学校長が発行するもの

出 願 資 格	資 格 証 明 書
文部科学大臣の指定した者	卒業又は卒業見込みの証明書(原本) *学校長が発行するもの
*昭和 23 年 文部省告示	国際バカロレア資格取得者(→注 4) アビトゥア資格取得者(→注 5) バカロレア資格(フランス共和国)取得者(→注 6) GCEA レベル資格取得者(→注 7)
	国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は修了見込みの者(→注 8)
	① 修了又は修了見込みの証明書(原本) ② 当該教育施設が認定を受けた証明書(原本) *いずれも当該教育施設の長が発行するもの
	その他文部科学大臣の指定した者(旧制諸学校出身者等)(→注 9)
	卒業(修了)証明書又はこれに準ずるもののコピー
高等学校卒業程度認定試験等(問合せ等→注 10)	高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者
	合格証書のコピー又は合格証明書(原本) *合格証明書は文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に請求し入手すること *発行年月日は問わない
*平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの	高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者
	高等学校卒業程度認定試験合格見込成績証明書(原本) *文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に請求し入手すること 又は次の①及び② ① 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の「科目合格通知書」のコピー ② 試験科目に相当する科目の単位修得見込証明書(原本) *①は文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に、②は在学する学校にそれぞれ請求し入手すること
	平成 28 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験に出願している者
	平成 29 年度大学入学者選抜大学入試センター試験出願資格申告書 *この申告書は平成 28 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験の受験案内に記載されている様式を使用し、作成すること
	いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者)であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
	「その後に入学させる大学」において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたことを証明する書類(原本) *当該大学の学長が発行するもの
	大学において、個別の入学資格審査による認定を受けた者(→注 12-1~12-3)
	認定を受けたことを証明する書類のコピー *当該大学の学長が発行するもの

(注 1-1) 外国にある学校（インターナショナルスクール等）の課程を修了した者は、我が国における大学入学資格が認められない場合がありますので、早めに次のものを大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵送し（封筒の表面に「出願資格照会」と朱書すること。）、出願資格の有無を照会してください。

- ①当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類（Diploma など）のコピー
- ②氏名、生年月日、住所、電話番号、小学校～高等学校までの履歴を記入した用紙（様式自由）

(注 1-2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。）

(注 1-3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は次表の上欄及び中欄に掲げる施設における研修並びに同表の下欄に掲げる施設における我が国の大学に入学するために必要な教科に係る教育をもって編成される当該課程を修了し、かつ、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

上欄	埼玉県、大阪府、福岡県の各中国帰国者定着促進センター
中欄	北海道、山形県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター
下欄	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター

(注 1-4) 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者又は平成29年3月31日までに修了見込みの者

(注 1-5) 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた次の教育施設の当該課程を修了した者又は平成29年3月31日までに修了見込みの者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

所在地	平成27年3月13日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	エスコーラ・インテルクートゥラウ・ウニフィカーダ・アルコ・イリス、コロンビア・インターナショナルスクール
東京都	インドネシア学校東京、カナディアンインターナショナルスクール、東京韓国学校中・高等部（旧東京韓国学校）、東京国際フランス学園（旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・トウキョウ及び旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京柳北校）、東京中華学校
神奈川県	東京横浜独逸学園、横浜中華学院
岐阜県	コレージュ・イザキ・ニュートン
静岡県	エスコーラ・アウカンセ、エスコーラ・ノヴァ・エラ、セントロ・エドカショナル・イ・プロフィシオナリザンチーCEPブラジル
愛知県	コレージュ・ブラジルージャポン・プロフェッショナル・シノダ
三重県	ニッケン学園

* 次の教育施設については、平成18年2月6日以降に修了した者に限り（平成18年2月5日以前に修了した者は注1-3の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。）。

所在地	平成27年3月13日現在で確認されている教育施設の名称
茨城県	インスチツト・エドゥカレ（旧エスコーラ・ビンゴ・デ・ジェンテ）、エスコーラ・エ・クレシエ・ド・グルーポ・オピソン
群馬県	インスチツト・エドカショナル・ジェンテ・ミウダ、インスチツト・エドカショナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイズミ、エスコーラ・パラレロ各種学校（旧エスコーラ・パラレロ太田校）、伯人学校イーエーエス太田（旧コレージュ・ピタゴラス・ブラジル太田校）
山梨県	アルプス学園（旧コレージュ・ピタゴラス・ブラジル山梨校）
長野県	コレージュ・エ・クレシエ・サウ・エ・ルス、長野日伯学園（旧コレージュ・ピタゴラス・ブラジル長野校）

所在地	平成27年3月13日現在で確認されている教育施設の名称
岐阜県	セントロ・エドカショナル・ノヴァ・エターパ、ソシエターデ・エドカショナル・ブラジリアン・スクール、HIRO 学園エスコーラ・ブラジレイラ・プロフェッショナル・カワセ（旧エスコーラ・ブラジレイラ・プロフェッショナル・カワセ）
静岡県	エスコーラ・ブラジル（旧エスコーラ・ブラジレイラ・デ・ハママツ）、伯人学校イーエーエス浜松（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール浜松校）
愛知県	エスコーラ・サンパウロ、エスコーラ・ネクター、伯人学校イーエーエス豊田（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール豊田校）、伯人学校イーエーエス豊橋（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール豊橋校）、伯人学校イーエーエス碧南（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール碧南校）
三重県	伯人学校イーエーエス鈴鹿（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール鈴鹿校）
滋賀県	日本ラチーノ学院（旧コレージュ・ラティーン・デ・シガ）

* 次の教育施設については、平成25年1月31日以降に修了した者に限り（平成25年1月31日以前に修了した者は注1-3の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。）。

所在地	平成27年3月13日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ブラジル課程に限る。）

* 次の教育施設については、平成26年12月8日以降に修了した者に限り（平成26年12月8日以前に修了した者は注1-3の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。）。

所在地	平成27年3月13日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	各種学校インストゥット エドゥカショナル ティー・エス レクレアソン

* 次の教育施設については、注1-3の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。

所在地	平成27年3月13日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ペルー課程に限る。）

* 以上の教育施設については、今後追加されることがあります。

* コレージュ・ピタゴラス・ブラジル真岡校（栃木県）、エスコーラ・パラレロ伊勢崎校（旧エスコーラ・パラレロ東村校）（群馬県）、セントロ・エドカショナル・カナリーニョ（埼玉県）、セントロ・デ・アプレンジザージェン・ロゴス（埼玉県）、エスコーラ・パラレロ伊那校（長野県）、インスチツト・エドカショナル・エマヌエウ（岐阜県）、エスコーラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ（静岡県）、エスコーラ・ニッポ・ブラジレイラ（静岡県）、コレージュ・アウレオ（愛知県）、京都韓国中学（京都府）、セントロ・エドカショナル・ノヴォ・ダマスコ（長野県）、コレージュ・ピタゴラス・ブラジル浜松校（静岡県）、コレージュ・ドン・ボスコ（愛知県）、コレージュ・ピタゴラス・ブラジル愛知校（愛知県）を修了した者は大学入試センター事業第1課（→裏表紙）まで照会してください。

(注 2) 早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校、スイス公文学園、立教英国学院、帝京ロンドン学園、慶應義塾ニューヨーク学院、上海日本人学校及び如水館バンコクの各高等部がこれに該当します（平成26年7月9日現在）。

下記の教育施設は、在外教育施設としての認定を取り消された又は指定を解除されているが、取り消された又は解除された日以前に修了した者は、文部科学大臣が指定した者に該当します。

教育施設の名称	認定を取り消された又は指定を解除された日
ブレーメン国際日本学園	平成11年12月17日
英国四天王寺学園	平成13年3月31日
英国暁星国際学園	平成14年8月14日
駿台アイルランド国際学校	平成15年3月31日
アルザス成城学園	平成17年3月31日
テネシー明治学院	平成19年3月31日
東海大学付属デンマーク校	平成20年3月31日
ドイツ桐蔭学園	平成24年3月31日
フランス甲南学園トゥレーヌ高等部（旧トゥレーヌ甲南学園）	平成25年3月31日
サウスクイーンズランドアカデミー	平成25年3月31日

- (注 3) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (注 4) 国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- (注 5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- (注 6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- (注 7) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- (注 8) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
 * 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は、今後追加されることがあります。
 * 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体に認定されているかどうかは、在学（卒業）している教育施設に確認してください。
- (注 9) その他、旧制の諸学校の出身者や、小・中・高等学校の教諭の普通免許状を有する者など昭和 23 年文部省告示第 47 号で指定された者です。
- (注 10) 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定について不明な点があれば、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係（03 - 5253 - 4111（代表））に問い合わせてください。
- (注 11) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの試験科目に相当する科目について、在学している高等学校、高等専門学校、海外において高等学校の課程と同等の課程を有するものとして文部科学大臣が認定した在外教育施設又は文部科学大臣の指定により大学入学資格が付与されている専修学校高等課程で、平成 29 年 3 月 31 日までに修得する見込みの者がこれに該当します。
- (注 12-1) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- (注 12-2) 個別の入学資格審査による認定を受けたことを証明する書類は、大学入試センター試験出願時に必要なもので、必ず大学入試センター試験の出願までに、志望大学に個別の入学資格審査の申請をして交付を受けておいてください。個別の入学資格審査の申請方法は、各大学が定めているので、志望大学に問い合わせてください。
- (注 12-3) 個別の入学資格審査による認定の効力は、当該入学資格審査を行う大学（学部・学科等ごとに個別の入学資格審査が実施される場合には、当該学部・学科等）にのみ及びます。

2 出願期間と出願方法等

(1) 出願期間

平成 28 年 9 月 27 日（火）～10 月 7 日（金）

（10 月 7 日消印有効。10 月 8 日以降に到着したもののうち消印がないものについては、10 月 7 日までに郵便局の窓口へ差し出されたことが確認できるものに限り受理します。）

(2) 出願方法

① 出願書類の提出方法は下表のとおりです。

区 分	出 願 書 類	提 出 方 法
高等学校*又は中等教育学校を卒業見込みの者 * 特別支援学校の高等部を含む。 * 高等学校卒業程度認定試験合格（合格見込みを含む。）などの資格で出願する場合は、下の「上記以外の者」により直接出願すること。	ア 志願票 記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書（→p.24） 志願票に貼り付ける。「受付局日附印」が押印されていること。	学校経由出願 左記の出願書類を在学している学校に提出すること。 通信制課程の場合も在学している高等学校に提出すること。
上記以外の者 * 上記学校の卒業者や他の出願資格の者	ア 志願票 記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書（→p.24） 志願票に貼り付ける。「受付局日附印」が押印されていること。 ウ 出願資格を証明する書類（→p.6） 封筒から出して、書類のみを志願票と一緒に提出すること。「開封無効」等の表示がある場合でも大学入試センター試験の出願に当たっては、封筒から出すこと。	個人直接出願 左記の出願書類を、この受験案内に添付してある封筒を使用して、必ず「簡易書留郵便」で郵送すること。 「簡易書留郵便物受領証」は大切に保管しておくこと。

② 書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。

③ 受理した出願書類は返却しません。

④ 出願方法について疑問がある場合は、出願期間の前に、できるだけ早く大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に問い合わせてください。

(3) 出願の確認

大学入試センターは出願書類を受理したのち、10 月 25 日（火）までに届くように確認はがき（出願受理通知）を送付します（→p.26）。この確認はがきは、出願の受理及び受験教科等の登録内容を通知するものですので、記載内容に誤りがないかを必ず確認してください。

4) その他

志願者本人の責めに帰すことができない理由により、出願期間内に出席できなかった場合（出席書類を在学する学校に提出又は郵便局の窓口へ差し出したが、大学入試センターに到着しなかった場合）は、速やかに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）まで申し出てください。

出
願

3 受験教科の事前登録

(1) 受験教科及び科目数等の登録

大学入試センター試験の受験教科等については、あらかじめ、以下の事項を出願時に申し出て、登録する必要があります。

- ① 受験教科
- ② 地理歴史、公民の受験科目数
- ③ 理科の科目選択方法
- ④ 「数学②」及び「外国語」の別冊子試験問題の配付希望

これらの登録を正しく行わないと、希望する教科・科目を受験することができませんので、下記②に示す注意事項をよく理解した上で、正しく登録してください。

登録した内容については、10月25日（火）までに受け取る確認はがきにより確認し、万一、志願票への記入誤り等により、登録内容の訂正が必要となった場合は、大学入試センターに訂正を届け出てください（→p.26）。

(2) 受験教科及び科目数等の登録に当たっての主な注意事項

以下の注意事項は、出願に当たって特に注意が必要な事項です。詳細については、「6 志願票の記入方法」（→p.18）をよく読んで、志願票に記入してください。

① 受験教科

ア 大学入試センター試験の出題教科は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語の6教科です。試験当日は、登録した受験教科以外を受験できません。万一、登録していない教科を受験しても採点されません。

イ 地理歴史及び公民については、同一の試験時間に実施しますので、出願時には、この2教科を「地理歴史、公民」の1教科として登録します。

ウ 数学については、試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けて実施します。数学を受験教科として登録した場合は、「数学①」のみの受験又は「数学②」のみの受験も可能です。

エ 理科については、試験時間を「理科①」と「理科②」のグループに分けて実施します。

② 地理歴史、公民の受験科目数

地理歴史、公民を受験する場合は、受験する科目数（1科目又は2科目）を登録します。

試験当日は、登録した受験科目数に従って、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から、解答する科目を選択することができます。

※ 登録した科目数を試験当日に変更することはできません。

③ 理科の科目選択方法

理科を受験する場合は、A～Dの科目選択方法のうちから1つ選んで登録します。

グループ	出題科目	科目選択方法
理科①	「物理基礎」「化学基礎」	A：理科①から2科目を選択
	「生物基礎」「地学基礎」	B：理科②から1科目を選択
理科②	「物理」「化学」	C：理科①から2科目及び理科②から1科目を選択
	「生物」「地学」	D：理科②から2科目を選択

試験当日は、登録したA～Dの科目選択方法に従って、受験科目を選択できます。

※ 登録した科目選択方法を試験当日に変更することはできません。

※ 「理科①」は試験時間60分で必ず2科目を選択解答します。なお、解答する科目の順序と時間の使い方は自由です。

出
願

④ 「数学②」及び「外国語」の別冊子試験問題の配付を希望する場合

「数学②」の「簿記・会計」「情報関係基礎」及び外国語の「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」を受験する場合は、出願時に、別冊子試験問題の配付希望を申し出る必要があります。

なお、別冊子試験問題の配付を希望した場合でも、「数学②」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」]」や「外国語〔英語(筆記)〕」の問題冊子も併せて配付されますので、これらの科目を選択解答することもできます。

4 障害等のある方への受験上の配慮

(1) 大学入試センター試験の受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、下表のような配慮を希望する者は平成28年10月7日(金)までに申請してください。大学入試センターは、志願者からの申請を審査の上、受験上の配慮を決定します。決定に当たっては個々の症状や状態等を総合的に判断します。

この申請がなければ、各試験場では受験上の配慮を行いません。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても、受験上の配慮の申請が必要となりますので、申請し忘れないよう、十分に注意してください。

なお、「座布団」「ひざ掛け」「タオル(サイズは問わない)」「ティッシュペーパー」「ハンカチ」「目薬」については、受験上の配慮の申請は不要です。

受験上の配慮の対象となる者や配慮の具体的な内容、申請方法等は「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」に掲載しています。入手方法については、次ページを参照してください。

受験上の配慮の内容等について不明な点がある場合には、できるだけ早く大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に相談してください。

区 分	対 象 と な る 者	配 慮 事 項 (例)
① 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 上記以外の視覚障害者 	<ul style="list-style-type: none"> 点字解答・文字解答 拡大文字問題冊子(14ポイント・22ポイント)の配付 拡大鏡等の持参使用 窓側の明るい座席を指定 照明器具の持参使用又は試験場側での準備
② 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 上記以外の聴覚障害者 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳士等の配置 注意事項等の文書による伝達 座席を前列に指定 補聴器又は人工内耳の装用 リスニングの免除
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外の肢体不自由者 	<ul style="list-style-type: none"> チェック解答・代筆解答 介助者の配置 試験室を1階に設定 トイレに近い試験室で受験 車椅子、杖の持参使用 試験場への乗用車での入構
④ 病弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者 	<ul style="list-style-type: none"> 試験室を1階に設定 杖の持参使用 別室の設定
⑤ 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> 試験時間の延長(1.3倍) チェック解答 拡大文字問題冊子(14ポイント・22ポイント)の配付 注意事項等の文書による伝達
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> トイレに近い試験室で受験 座席を試験室の出入口に近いところに指定

(2) 出願前申請

希望する配慮によっては審査に時間がかかる場合もあるため、受験上の配慮については出願前の申請を受け付けます。できるだけ早めに、申請してください。

出願前申請受付期間：8月1日（月）～9月26日（月）まで（9月26日消印有効）

出願前に審査結果の通知を希望する場合は、9月5日（月）（消印有効）までに申請してください。この場合、配慮の可否は、9月下旬までに「受験上の配慮事項審査結果通知書」により通知します。

なお、この出願前申請を行っただけでは出願をしたことにはなりません。出願する場合には、この手続のほかに、必ず出願期間内（9月27日～10月7日）に志願票等の出願書類を提出してください（→p.11）。詳しいことは「受験上の配慮案内」で確認してください。

(3) 「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」の入手方法

受験上の配慮を希望する志願者は、できるだけ早い時期に「受験上の配慮案内」を次の①又は②の方法により入手してください（大学等では配付していません。）。申請に必要な申請書等の様式は、「受験上の配慮案内」にとじ込んであります。

① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）からダウンロードできます。申請書や診断書等の様式をダウンロードしてそのまま使用することができます。

② 次のア・イを封筒（表面に「受験上の配慮案内請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵便で請求してください。

ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等

イ 返信用封筒（角形2号：縦33.2cm・横24cm、表面に現住所・氏名を記入し、250円の切手を貼る。）

(4) 志望大学との事前相談

障害等の種類・程度によっては、志望大学の個別学力検査や修学上（入学後の大学生活等）の配慮が必要となる場合がありますので、別途、志望大学が定めている期日までに相談してください。

(5) 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮

出願時に申請する受験上の配慮のほか、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のための受験上の配慮があります（→p.38）。

この配慮は、申請する理由が出願後に発生したときに限り行うものです。したがって、出願時までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。

5 成績通知

大学入試センターは、出願時の希望に基づき、成績通知書を志願者本人の住所に送付します。

(1) 成績通知の内容

「受験した科目名」「試験区分（本・追再試験の別）」「得点（科目別得点）」を成績通知書により通知します。

なお、「国語」については出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点を、「英語」については、「筆記」、「リスニング」別の得点を表示します。

「地理歴史、公民」及び「理科」については、次のとおりです。

ア 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において2科目を受験した場合は、解答順に「第1解答科目」、「第2解答科目」別の得点を表示します。

イ 「理科①」を受験した場合は、選択した科目別の得点及びその合計点を表示します。

(2) 成績通知の時期

出願時に成績通知を希望した志願者には、平成29年4月16日（日）以降に成績通知書を書留郵便で送付します。成績通知書が4月25日（火）までに届かない場合は、大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に電話で問い合わせてください。

なお、成績通知書は再発行できませんので、大切に保管してください。

* 書留郵便は、配達時に不在の場合、郵便局に一定期間保管されます。郵便局が受取方法を記した配達時不在連絡票を郵便受けに入れていきますので、直接、郵便局に問い合わせ受け取ってください。

なお、郵便局での保管期間（おおむね1週間）を過ぎると大学入試センターに返送されてしまいますので注意してください。

(3) 成績通知の申込方法

成績通知を希望する志願者は、出願時に成績通知手数料（800円）を検定料と併せて払い込み（→p.24）、志願票の「⑱成績通知」欄の「希望する」を○で囲んでください（→p.20）。

なお、出願後に成績通知の希望の有無を変更することはできません。

(4) 大学入試センター試験終了後の「現住所の変更」

大学入試センター試験終了後に成績通知書を送付する現住所を変更する場合は、平成29年3月24日（金）まで（必着）に「住所等変更・訂正届」（→p.36）を記入した上で、封筒（表面に「住所等変更・訂正届」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵送してください。

6 志願票の記入方法

記入上の注意

- ① 志願票は、必ず志願者本人が黒のボールペンで丁寧に記入してください（病気・負傷や障害等のために記入が困難な場合は、保護者等が記入してください。）。
- ② 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に、修正内容が明確に分かるように訂正してください。その際、文字がマスからはみ出ても構いません。訂正印は不要です。
- ③ 記入の済んだ志願票は第Ⅰ面・第Ⅱ面ともにコピーを取り、出願の際には原本を提出してください（志願票のコピーは、大切に保管しておいてください。）。

(1) 志願票（第Ⅰ面）各欄への記入

平成 29 年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅰ面
出願期間：平成 28 年 9 月 27 日（火）～10 月 7 日（金）（10 月 7 日消印有効）

※折のこは折面に入れなからず。

① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)	出身学校名	② 障害等のある方への 受験上の配慮 (別途申請が必要) 希望する	学校記入欄 ③ 整理番号 (学校単位に1番番 字を記入し、他の番 字を空欄に記入してください)
④ 課程			
⑤ 学科			
⑥ 卒業見込者・卒業者の別			
⑦ 卒業した年			
⑧ その他の出願資格			
⑨ カタカナ記入 (姓と名の間を1マスあけ、濁点及び半濁点は1マスを使用して記入してください)			
⑩ 漢字等記入 (かじ書で丁寧に記入してください。姓と名の間を1マスあけてください)			
⑪ 性別			
⑫ 生年月日			
⑬ 電話番号(自宅・下宿・寮)			
⑭ 携帯電話(本人)			
⑮ 郵便番号			
⑯ 現住所			

第Ⅱ面（裏面）も必ず記入してください。第Ⅰ面の記入だけでは、志願票の記入を終えたことになりません。

高等学校等コード・出身学校名

55ページの「高等学校等コード表」を確認し、出身学校のコードを記入してください。

- * 通信制の学校については、その学校の本部のある都道府県の欄に記載されています。
- * 出身学校が他校と統合された場合や学校名が変更となった場合は、変更後のコードを記入してください。
- * 出身学校が廃校となった場合は、その学校の所在していた都道府県の「上記以外の高等学校等」のコードを記入してください。
- * 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定の「出身学校名」は、「高卒認定」と記入してください。

【希望者のみ】障害等のある方への受験上の配慮

受験上の配慮を申請する場合のみ、「希望する」を○で囲んでください。受験上の配慮の出願前申請(→p.16)を行った場合も○で囲んでください。

- * 出願期間(9月27日～10月7日)に受験上の配慮を申請する場合は、申請書や診断書等の必要書類を必ず志願票に添付して出願してください(出願前申請を行った場合は、受験上の配慮出願前申請済届(→「受験上の配慮案内」p.39)を添付してください。)

出願資格

- 高等学校又は中等教育学校卒業見込・卒業者の記入欄
「④課程」「⑤学科」「⑥卒業見込者・卒業者の別」…それぞれ該当するものを○で囲んでください。
「⑦卒業した年」…卒業者のみ記入してください。
- 上記以外の出願資格者の記入欄
「⑧その他の出願資格」…該当する資格を○で囲んでください。

氏名・性別・生年月日

「⑨カタカナ氏名」…姓と名の間を1マスあけ、濁点等は1マスを使用して記入してください。

「⑩漢字等氏名」…できるだけ常用漢字で記入してください(JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、その文字が置き換えられるか、全てカタカナで表示されます。)

- * 氏名に小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。【「ショウ」→「シヨウ」など】
- * 氏名が記入欄に入りきらない場合は、入るところまで記入してください。

「⑪性別」…男・女のどちらかを○で囲んでください。

「⑫生年月日」…該当する年号を○で囲み、年月日を記入してください。年月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を記入してください。

【置き換えられる文字の例】

邊	→	邊	朗	→	朗	祐	→	祐
濱	→	濱	角	→	角	菜	→	桑
廣	→	廣	臺	→	臺	遙	→	遙
高	→	高	崎	→	崎	ヲ	→	オ

電話番号

自宅等の固定電話及び志願者本人の携帯電話の電話番号を、ハイフンを入れて左詰めで記入してください(どちらか1つしかない場合は、片方のみの記入でも構いません)。

現住所

現在、居住している住所を記入してください(住民票に記載された住所である必要はありません)。学校や予備校の住所、私書箱、郵便局留は使用できません。

マンション等に居住している場合は、建物名、部屋番号まで記入してください。

- * 現住所のカタカナに小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。

(2) 志願票（第Ⅱ面）各欄への記入

出
願

平成 29 年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

① 受験教科
受験する・しないにかかわらず、必ず該当する選択肢を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選 択 記 入 欄	番 号
国 語	A…受験する X…受験しない	□ 200
地理歴史 公 民	A…1科目受験する B…2科目受験する X…受験しない	□ 201
数 学	A…受験する X…受験しない	□ 202
理 科	A…理科①を受験する B…理科②を1科目受験する C…理科①を受験、理科②を1科目受験する D…理科②を2科目受験する X…受験しない	□ 203
外国語	A…受験する X…受験しない	□ 204

※ 選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

★ 受験教科数の計算について
・選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。
・例えば、選択記入欄に上から順番に「A、B、X、D、A」と記入した場合、受験教科数は、「X以外のアルファベットが4つ」で、合計4教科となります。

【該当者のみ】
「イヤホン不適合措置申請書」貼り付け欄

★ リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないようしっかり貼り付けてください。（受験案内 44 ページ参照）

E 検定料受付証明書貼り付け欄

【希望者のみ】⑧ 別冊子試験問題配付希望
次の科目の受験を希望する者のみ記入してください。

数学②のうち次の科目
「簿記・会計」
「情報関係基礎」 希望する
□ 205

外国語のうち次の科目
「ドイツ語」
「フランス語」
「中国語」
「韓国語」 希望する
□ 206

⑨ 成績通知
【成績通知】の希望の有無に○をしてください。

成績通知	
1 希望する	2 希望しない
□ 207	

払込金額

	成績通知	
	希望する	希望しない
受験教科数 3教科以上	18,800円	18,000円
2教科以下	12,800円	12,000円

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。

受験教科 (→p. 3)

受験教科等の登録に当たっては、あらかじめ志望大学の募集要項等を確認した上で、全ての教科について、それぞれ該当するアルファベットか「X」を選択し選択記入欄に記入してください。

なお、選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。この欄の記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、志願票どおりに登録できないことがあります(→p. 25)。

教 科	記 入 方 法
国 語	・受験する → 「A」と記入 ・受験しない → 「X」と記入
数 学	※ 数学を「受験する」(「A」)として登録した場合は、「数学①」と「数学②」の両方が登録されますが、「数学①」のみ又は「数学②」のみの受験も可能です。
外国語	
地理歴史 公 民	・1科目受験する → 「A」と記入 ・2科目受験する → 「B」と記入 ・受験しない → 「X」と記入
理 科	・理科①を受験する → 「A」と記入 ・理科②を1科目受験する → 「B」と記入 ・理科①を受験、理科②を1科目受験する → 「C」と記入 ・理科②を2科目受験する → 「D」と記入 ・受験しない → 「X」と記入

記入欄に正しく記入されていない場合(未記入又は選択肢にない文字を記入等)は、その教科を「受験しない」教科として登録します。

出
願

【希望者のみ】別冊子試験問題の配付 (→p. 14)

数学及び外国語で、次の科目の受験を希望する場合は、「希望する」を○で囲んでください。

教科 (グループ)	配付希望の登録が必要な科目
数 学 ②	「簿記・会計」 「情報関係基礎」
外国語	「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」

なお、別冊子試験問題の配付を希望した場合でも、数学②の「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」や、外国語の「英語(筆記)」の問題冊子も同時に配付されますので、これらの科目を選択することもできます。

成績通知 (→p. 17)

成績通知を希望する場合は「1 希望する」を、希望しない場合は「2 希望しない」を○で囲んでください。

なお、この欄の記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、検定料受付証明書の払込金額に従って、成績通知希望の有無を登録します。

【該当者のみ】イヤホン不適合措置申請書 (→p. 44)

リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」をはがれないようしっかり貼り付けてください。

検定料受付証明書 (→p. 24)

検定料を払い込み、日附印の押されたE「検定料受付証明書」を貼り付けてください。

検定料の払込金額は、次のとおり「受験教科数」と「成績通知の希望の有無」により異なりますので、正しい金額を払い込んでください。

	成績通知を希望する	成績通知を希望しない
3教科以上受験	18,800円	18,000円
2教科以下受験	12,800円	12,000円

受験教科等の登録 <Q & A>

Q1 出願時に「地理歴史、公民」を「受験しない」として登録しましたが、「1科目受験する」に訂正することはできますか？

A 11月2日（水）まで（消印有効）に届け出れば、受験教科等の登録内容を訂正することができます。

大学入試センターは、出願後、受験教科等の登録内容が記載された「確認はがき」を10月25日（火）までに届くように送付しますので、登録された受験教科等を訂正する必要がある場合は、11月2日（水）まで（消印有効）に、大学入試センターに「登録教科等訂正届」を郵送してください（→p.26）。

なお、この訂正期限を過ぎた場合、登録教科の訂正は一切できませんので注意してください。

* 氏名、連絡先等を訂正する場合は、26ページに従って届け出てください。

Q2 試験当日に、受験教科として登録されていない教科を受験することができますか？

A できません。

万一、試験当日に登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。

Q3 「受験する」として登録されている教科の受験を、試験当日になって取りやめることはできますか？

A 試験時間単位で受験を取りやめることができます。

受験を取りやめた場合、その試験時間の科目は受験しなかったものとして取り扱います。0点として採点されることはありません。

Q4 数学を「受験する」として登録されている場合、「数学①」と「数学②」のどちらか片方だけ受験することもできますか？

A できます。

受験しない試験時間の科目は受験しなかったものとして取り扱います。0点として採点されることはありません。

Q5 「地理歴史、公民」を「2科目受験する」として登録しましたが、試験当日に1科目のみを受験することはできますか？

A できません。

「地理歴史、公民」を「2科目受験する」と登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて1つの試験時間としているので、試験当日に1科目のみを受験する（1科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。「2科目受験する」と登録した場合、必ず2科目分を採点（前半の60分を第1解答科目、後半の60分を第2解答科目として採点）します。

同様に、「1科目受験する」と登録した場合、試験当日に2科目を受験することもできません（「理科②」も同様です。）。

Q6 「理科①」は2科目解答することになっていますが、1科目だけを解答することはできますか？

A できません。

「理科①」は試験時間60分で必ず2科目を選択解答してください。

なお、解答する科目の順序と時間の使い方は自由です。

Q7 「理科①」と「理科②」を受験する場合、同一名称を含む科目を組み合わせて選択することはできますか？

A できます。

センター試験では「理科①」と「理科②」において、同一名称を含む科目の組合せ（例えば、「物理基礎」と「物理」など）で選択解答することができます。ただし、大学によっては、認めていない場合もありますので、志望大学の募集要項等で、「理科①」と「理科②」の科目選択の取扱いをよく確認してから受験してください。

なお、「地理歴史、公民」においては、同一名称を含む組合せで2科目を選択することはできません（→p.3）。

Q8 理科の科目選択方法を試験当日に変更することはできますか？

A できません。

また、科目選択方法で「理科②」を2科目受験すると登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて1つの試験時間としているので、試験当日に1科目のみ受験する（1科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。

7 検定料及び成績通知手数料の払込方法

(1) 検定料等の払込金額

払込金額は、受験教科数、成績通知（手数料 800 円）の希望の有無により、下表の 4 種類があります。

試験当日に受験する教科と成績通知の希望の有無をあらかじめ決めた上で、正しい金額を払い込んでください。

区 分	成績通知を希望する場合	成績通知を希望しない場合
3 教科以上を受験する場合	18,800 円	18,000 円
2 教科以下を受験する場合	12,800 円	12,000 円

なお、受験教科数を数える際に、地理歴史と公民については、この 2 教科を合わせて 1 教科として数えますので注意してください。

例えば、国語、地理歴史、公民の 3 教科を受験する場合でも、出願時においては、地理歴史と公民を合わせて 1 教科として数えますので、払い込む検定料は、「2 教科以下を受験する場合」の「12,800 円」又は「12,000 円」のいずれかとなります。

(2) 払込期間

平成 28 年 9 月 1 日（木）～10 月 7 日（金）（出願期間は 9 月 27 日～10 月 7 日）

(3) 払込場所

「ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口」又は「払込書裏面記載の銀行の受付窓口」

必ず受付窓口で払い込んでください。ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

* 「払込書」の裏面には「ATM でもご利用いただけます」と記載されていますが、大学入試センター試験では、ATM で払い込んだものは使用できません。

(4) ゆうちょ銀行・郵便局及び「払込書」裏面記載の銀行の本・支店間を利用した場合の振込手数料は、大学入試センターが負担します。それ以外の金融機関（信用金庫・農協など）を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。

(5) 払込方法（下記の払込書イメージ図を参照）

① この受験案内に添付されている 4 種類の払込書の中から、受験教科数や成績通知希望の有無に応じた金額の払込書を選び、その払込書を使用してください。

② 「払込書」は 5 つの部分からなっており、それぞれの「志願者」欄には、**A～E** の記号が印刷されています。**A～E** の※印の欄に志願者本人の住所、氏名等を記入してください。

【払込書イメージ図】

志願票に貼り付けるのはこの部分です。

※ A	※ B ※	※ C	※ D	※ E
------------	--------------	------------	------------	------------

③ 銀行（ゆうちょ銀行を除く。）で払い込む場合は、振込先欄に銀行名、支店名、口座番号も記入してください。

④ 払込後は、日附印の押された **E**「検定料受付証明書」を志願票に貼り付けてください。
D「振替払込請求書兼受領証」は本人の控えとして大切に保管してください。

(6) 出願に際しての注意事項

① 志願票（第Ⅱ面）の貼り付け欄に検定料等の払込済の **E**「検定料受付証明書」を貼り付けた後に、志願票の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい志願票に記入し直す場合でも、検定料等は二重に払い込まないでください。その場合は、払込済の **E**「検定料受付証明書」を志願票ごと切り取って、新しい志願票に貼り付けてください。

② 払込済の **E**「検定料受付証明書」が志願票に貼り付けられていない場合は、出願を受理しません。

③ **E**「検定料受付証明書」を紛失した場合は、代わりに **D**「振替払込請求書兼受領証」を志願票に貼り付けてください。

④ 成績通知について、志願票に貼り付けられた **E**「検定料受付証明書」の払込金額と志願票の記入に相違があった場合は、**E**「検定料受付証明書」の払込金額に従って、出願を受理します。

⑤ 志願票に貼り付けられた **E**「検定料受付証明書」の払込金額と志願票に記入された受験教科数に相違があった場合は、志願票どおりに登録できない場合がありますので、必ず払込金額と志願票に記入した登録教科数と一致していることを確認してください。相違があった場合は、確認はがきに表示されますので、所定の訂正手続をしてください（→p.26）。

(7) 検定料等の返還請求

① 検定料等の返還請求ができるのは、次の場合です。

ア 検定料等を払い込んだが大学入試センターに出願しなかった（出願書類等を大学入試センターに提出しなかった）又は出願が受理されなかった場合

イ 検定料等を二重に払い込んだ場合

（「登録教科等訂正届」の提出に伴い検定料等を再度払い込んだ場合を含む（→p.26）。）

* 出願が受理されている場合、大学入試センター試験を受験しなくても払込済の検定料等は返還しません。

② 返還請求の方法

大学入試センターのホームページ（→裏表紙）から「検定料等返還請求書」をダウンロードして必要事項を記入し、**E**「検定料受付証明書」（既に **E**「検定料受付証明書」を大学入試センターに提出している場合は **D**「振替払込請求書兼受領証」）を貼り付けて大学入試センター財務課（〒153-8501 東京都目黒区駒場 2-19-23）へ郵送してください。返還時期は、平成 29 年 2 月中旬以降を予定しています。



出願後

1 確認はがき(出願受理通知)～登録内容の確認

確認はがきは、出願が受理されたことを通知するとともに、登録された志願票の記入事項のうち、特に重要な事項を表示したものです。

(1) 確認はがきの送付

大学入試センターは出願書類を受理したのち、確認はがきを10月25日(火)までに届くように送付します(高等学校等(通信制課程を除く。)を卒業見込みの者は在学している学校に送付します。)

確認はがきが10月25日(火)までに届かない場合は、必ず大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

(2) 登録内容の確認

確認はがきの受領後は、保管してある志願票のコピーと照らし合わせて、出願時の登録内容と確認はがきの表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

(3) 登録内容の訂正方法

確認はがきの表示に誤りがある場合、受験教科等をやむを得ず訂正する場合及び検定料と登録教科数に相違がある場合(→p.28)は、次の①と②の手順に従って、訂正内容を大学入試センターに届け出てください。

なお、作成した「住所等変更・訂正届」及び「登録教科等訂正届」はコピーを取り、大切に保管しておいてください。

① 必要書類の作成

ア 氏名、生年月日、連絡先を訂正する場合

「住所等変更・訂正届」(→p.36)に訂正内容を記入し、確認はがきのコピーを貼り付けてください。

イ 登録教科等及び別冊子試験問題の希望を訂正する場合

訂正が必要な項目について、27ページの(4)の表中「訂正に当たっての注意点」をよく読んで、「登録教科等訂正届」(→p.29)に訂正のある箇所のみ記入し、確認はがきのコピー等必要書類を貼り付けてください。

* 受験教科の訂正に伴い受験教科数が「2教科以下から3教科以上」又は「3教科以上から2教科以下」に変更となる場合は、正しい金額の払込書を使用し、再度検定料等を払い込み、「登録教科等訂正届」の所定欄にE「検定料受付証明書」を貼り付けてください(→p.29)。なお、既に払い込んだ検定料等は返還請求することができますので、「検定料等返還請求書」(→p.25)を同封してください。

ウ 検定料と登録教科数に相違がある場合(払込金額が誤っている場合)

27ページの(4)の表中「訂正に当たっての注意点」をよく読んで、正しい金額の払込書を使用し、再度検定料等を払い込み、「登録教科等訂正届」の所定欄にE「検定料受付証明書」と確認はがきのコピーを貼り付けてください。

② 「住所等変更・訂正届」、「登録教科等訂正届」の提出

ア 次表の送付方法に従って、11月2日(水)まで(消印有効)に、大学入試センターに郵送してください。

区 分	送 付 方 法
高等学校を卒業見込みの者など学校を経由して出願した者(ただし、下欄②の者を除く)	必要書類を在学している学校に提出すること(学校単位で取りまとめて大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送)。
① 受験案内に添付された封筒で個人出願した者	必要書類を封筒に入れて、大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送すること(封筒の表面に「登録教科等訂正」と朱書すること)。
② 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	

イ 大学入試センターは、届出内容に従って登録内容を訂正します。訂正された内容は、12月14日(水)までに到着する受験票(→p.30)で再度確認してください(確認はがきの再送付は行いません。)

ウ 「登録教科等訂正届」の誤記入、必要書類の不足等がある場合や、11月3日(木)以降の消印の場合は、訂正は一切受け付けません。

志願者本人の責めに帰すことができない理由(訂正届を期限前に在学する学校に提出又は郵便局の窓口差し出したが、大学入試センターに到着しなかった場合)により、訂正期限までに届出ができなかった場合は、速やかに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)まで申し出てください。

(4) 確認はがきの主な表示項目と訂正に当たっての注意点

【確認はがきの表示例】

① フリガナ、氏名、 生年月日、性別	高等学校等 コード 13440G 西多摩 フリガナ 氏名 西村 知 駒場 太郎 生年月日 平成10年10月02日 性別 男 042-395-999×
② 連絡先等	連絡先等 〒193-0013 東京都駒場市大学町 5-19-23 ビルディング名 803
③ 成績通知	成績通知 あり 受験上の配慮 希望しない
④ 受験上の配慮	イヤホン不適合措置 なし
⑤ イヤホン不適合措置	国 語 X 受験しない 地理歴史、公民 X 受験しない 登 録 教 科 数 学 A 受験する 理 科 D 理科②を2科目受験する 外 国 語 X 受験しない 登録教科数より多く検定料を払い込んでいます
⑥ 登録教科	
⑦ 別冊子試験問題	別冊子試験問題 数学② なし 外国語 なし

「地理歴史、公民」「理科②」 受験科目数の訂正について

試験当日に、登録した受験科目数を変更することはできません。例えば、「2科目受験する」として登録した場合、試験当日に1科目のみを受験することはできません。

受験科目数の訂正を希望する場合は、訂正期限までに「登録教科等訂正届」を大学入試センターに郵送してください。

出 願 後

表示項目	表示内容についての説明	訂正に当たっての注意点
① フリガナ 氏名 生年月日 性別	氏名にコンピュータで登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられる(→p.19)か、全てカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。	【必要書類】「住所等変更・訂正届」(→p.36) 性別が誤っている場合は、試験場の指定に影響がありますので、速やかに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。 出願後に現住所等を変更した場合も、「住所等変更・訂正届」を提出してください。
② 連絡先等	住所の後半部分(マンション名や「字(あざ)」以降の住所など)はカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。	
③ 成績通知	成績通知手数料(800円)を払い込んだ場合は、「あり」と表示されます。	出願時に申し出た内容を変更することはできません。 万一、確認はがきの表示内容が誤っている場合は、大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。
④ 受験上の配慮	受験上の配慮を申請した場合は、「希望する」と表示されます。	
⑤ イヤホン不適合措置	リスニングのイヤホン不適合措置を申請した場合は、「あり」と表示されます。	
⑥ 登録教科	各教科について「受験する」又は「受験しない」と表示されます。 地理歴史、公民を受験する場合は、「1科目受験する」又は「2科目受験する」と表示されます。 理科を受験する場合は、科目選択方法が表示されます。 検定料と登録教科数に相違がある場合は別表のような表示があります(→p.28)。	【必要書類】「登録教科等訂正届」(→p.29) ・訂正する教科のみ該当する選択肢を1つ選び、記入してください。別冊子試験問題の配付の希望を訂正する場合は、希望の有無に○をつけてください。 ・訂正の必要がない箇所は、記入しないでください。記入がない箇所については、確認はがきに記載されている登録内容で受験票を発行します。 ・全ての教科を「受験しない」とする訂正はできません。 ・検定料を再度払い込んだ場合、E「検定料受付証明書」が貼り付けられていないと、訂正は受け付けません。なお、既に払い込んだ検定料は返還請求することができますので、「検定料等返還請求書」(→p.25)を同封してください。
⑦ 別冊子試験問題	「数学②」「外国語」で別冊子試験問題の配付を希望した場合は、「あり」と表示されます。	

2 受験票・写真票・成績請求票

(1) 受験票等の送付

大学入試センターは、出願を受理した志願者に対して、(2)の見本のような「受験票」、「写真票」、「成績請求票」を「受験上の注意」とともに、12月14日(水)までに届くように、下表のとおり送付します。

受験票等が12月14日(水)までに届かない場合は、必ず大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に再発行を申請してください(→p.35)。

区 分	送 付 方 法
高等学校を卒業見込みの者など学校を経由して出願した者(ただし、下欄②の者を除く)	在学している学校に送付し、学校から配付されます。
① 受験案内に添付された封筒で個人出願した者	志願者本人に直接送付します。
② 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	

(2) 受験票・写真票・成績請求票の受領後の取扱い

①受験票

②写真票

平成29年度 **大学入学者選抜大学入試センター試験受験票**
指定された試験場以外では、受験できません。

試験場名	東西大学第1試験場	試験場コード	200011	受験番号	1001X	案件回数	1	性別	男	生年	平成10年10月02日生
所在地	東京都目黒区駒場2-19-23										
道 順	京王電鉄井の頭線「駒場東大前駅」西口下車、徒歩5分										
問合せ大学	東西大学	試験当日以外の電話	03-3465-8600	試験当日の電話	03-3465-8600						

受験教科名	備考
1 地理歴史、公民	○登録科目数2
日 国 語	-
目 外 国 語	○別冊子配付あり
2 数 学 ①	-
日 数 学 ②	○別冊子配付あり
目 理 科 ②	○登録科目数1

この受験票は大学の入学手続きまで必要です。	写真 (4cm×3cm)
-----------------------	-----------------

推薦 国公立推薦入試用	AO 国公立AO入試用	前 国公立前期日程用	後 国公立後期日程用	公中 公立大学中期日程用	2募 国公立第2次募集用
200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎
私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用
200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎
私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用
200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎
私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用	私・短 私立大学・公私立短期大学用
200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎	200011-1001X-1 (32A' 9D9) 駒場 太郎

③成績請求票

受験票

ア 受験票には、試験場に関する事項のほか、受験教科に関する下表の事項が表示されますので、登録内容と受験票の表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

なお、訂正届を提出した場合は、訂正した内容のとおり表示されているかを必ず確認してください。

事 項	表 示 内 容
受験教科名	受験できる教科(登録されている教科)には、受験教科名欄に「○」が表示されています。「-」が表示されている教科を受験することはできません。なお、数学は「数学①」と「数学②」を合わせて表示しますので、「○」があれば両方又はいずれか一方のグループを受験することができます。
登録科目数(地理歴史、公民、理科②のみ)	「地理歴史、公民」及び「理科②」は、備考欄に登録科目数が表示されています。例えば、「地理歴史、公民」の備考欄に「登録科目数2」と表示されているのは、「地理歴史、公民の中から2科目を受験する」という意味です。なお、試験当日に登録された科目数の変更はできません。
別冊子試験問題	「数学②」又は「外国語」を受験する者で、出願時に別冊子試験問題の配付を希望した場合のみ、備考欄に「別冊子配付あり」と表示されています。

イ 万一、記載内容に誤りがある場合は、受験票を再発行する必要がありますので、直ちに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。

ウ 受験票には写真(詳細は「受験上の注意」を参照)を貼り付け、試験当日、必ず持参してください。

また、受験票は、各大学の個別学力検査等及び入学手続の際にも必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

写真票

写真票には受験票と同一の写真を貼り付け、試験当日、必ず持参してください。写真票は、最初に受験する試験時間に試験室内で監督者が回収します。

成績請求票

成績請求票は、大学入試センター試験に参加する大学に出願する際、当該大学の出願書類に貼り付けて提出するものです。コピーしたものは使用できませんので、必ず受験票に同封されているものを使用してください。成績請求票は下表のとおり、使用区分別に7種類のものがあります。成績請求票を使用する際は、必ず各大学の募集要項等により確認してください。

成績請求票の種類	枚数	使用区分(出願する大学)
推薦	1枚	国公立推薦入試用 大学入試センター試験を課す推薦入試を実施する国公立大学(→注1)
AO	1枚	国公立AO入試用 大学入試センター試験を課すAO入試を実施する国公立大学
前	1枚	国公立前期日程用 前期日程で試験を実施する国公立大学(→注2)
後	1枚	国公立後期日程用 後期日程で試験を実施する国公立大学(→注2)
公中	1枚	公立大学中期日程用 中期日程で試験を実施する公立大学(→注2)
2募	1枚	国公立第2次募集用 欠員補充第2次募集を実施する国公立大学
私・短	18枚	私立大学・公私立短期大学用 大学入試センター試験に参加する私立大学・公私立短期大学

(注1) 国公立大学の推薦入試は、大学入試センター試験を課すかどうかにかかわらず、1つの大学・学部にしき出願できません。

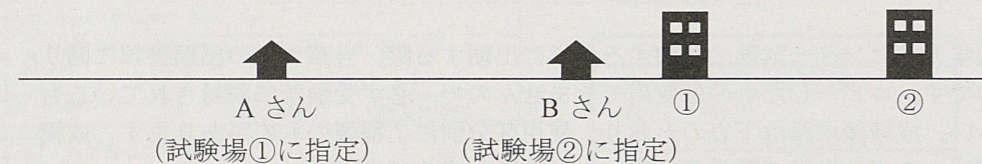
(注2) 国公立大学前期・後期日程及び公立大学中期日程は、それぞれ1つの大学・学部にしき出願できません。

3 試験場の指定

- (1) 各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする次ページの「試験地区区分表」に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布や使用施設の収容数等を考慮し指定します。指定された試験場は変更できません。
- (2) 大学入試センターが指定する試験場は、次表のとおり出願資格によって異なります。

出 願 資 格	指定する試験場	備 考
高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を平成29年3月に卒業見込みの者 *ただし、下欄②を除く。	出願時に在学している学校が所在する試験地区内の試験場	「試験地区」は、原則として都道府県を単位とします。 ただし、北海道、岩手県、埼玉県、神奈川県、兵庫県、島根県、鹿児島県、沖縄県については、次ページの「試験地区区分表」で定めるとおりとします。
① 上欄以外の者	志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	
② 高等学校の通信制課程を平成29年3月に卒業見込みの者		

- (3) 試験場は、必ずしも各志願者の現住所の最寄りの試験場が指定されるとは限りません。例えば、下の図のような場合、志願者Bさんが最寄りの試験場①ではなく、少し遠い試験場②に指定されることがあります。試験場①でも遠い志願者Aさんが、更に遠くの試験場②に指定されないようにするために、このようなことが起こります。



- (4) 同じ高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業見込者は同じ試験場に指定するよう考慮しますが、「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間に受験する科目数の組合せにより、あらかじめ試験室を分けますので、同じ学校の志願者が別々の試験場に指定されることがあります。

なお、試験場の設備等の関係上男子と女子がそれぞれ別の試験場に指定される場合もあります。また、障害等で受験上の配慮を申請した志願者についても、同じ学校の志願者とは別の試験場に指定されることがあります。

- (5) 試験場を指定する際に考慮される志願者数の分布等は毎年変化しますので、特定の住所や学校の志願者が、毎年同じ試験場に指定されるとは限りません。例えば、ある学校の志願者が昨年度まで継続してA試験場に指定されていたとしても、今年度はB試験場に指定されることがあります。

- (6) 出願後の現住所変更による試験場の変更はできません。

- (7) 各志願者の試験場は、受験票に記載して通知します。指定された試験場以外では、受験できません。

(8) 試験地区区分表（試験地区名）

北海道石狩振興局地区	埼玉県	島根県 (鹿足郡は山口県へ)
〃 空知総合振興局地区	〔草加市、蕨市、さいたま市・川口市の一部（卒業生等）は東京都へ〕	岡山県
〃 上川総合振興局・宗谷総合振興局・留萌振興局地区	千葉県	広島県
〃 後志総合振興局地区	東京都	山口県 (島根県の一部を含む。)
〃 檜山振興局・渡島総合振興局地区	〔埼玉の一部、神奈川の一部を含む。〕	徳島県
〃 胆振総合振興局・日高振興局地区	神奈川県	香川県
〃 十勝総合振興局地区	〔横浜市（鶴見区・青葉区・都筑区）の一部、川崎市は東京都へ〕	愛媛県
〃 根室振興局・釧路総合振興局地区	新潟県	高知県
〃 オホーツク総合振興局地区	富山県	福岡県
青森県 (岩手県の一部を含む。)	石川県	佐賀県
岩手県 (久慈市、九戸郡洋野町・野田村は青森県へ)	福井県	長崎県
宮城県	山梨県	熊本県
秋田県	長野県	大分県
山形県	岐阜県	宮崎県
福島県	静岡県	鹿児島県 (大島郡与論町は沖縄県那覇地区へ)
茨城県	愛知県	沖縄県那覇地区 (那覇市、うるま市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、南城市、国頭郡、中頭郡、島尻郡) (鹿児島県の一部を含む。)
栃木県	三重県	沖縄県宮古地区 (宮古島市、宮古郡多良間村)
群馬県	滋賀県	沖縄県石垣地区 (石垣市、八重山郡)
	京都府	
	大阪府	
	兵庫県 (美方郡新温泉町は鳥取県へ)	
	奈良県	
	和歌山県	
	鳥取県 (兵庫県の一部を含む。)	

出
願
後

出
願
後

4 出願後の各種手続

(1) 氏名、現住所、電話番号等の変更

次表のとおり、届出内容と時期によって届出に必要な書類が異なりますので、正しい書類に記入した上で、封筒（表面に必ず「住所等変更・訂正届」又は「受験票再発行等申請」と朱書すること。）に入れて郵便で大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に届け出てください。

届出内容	届出の時期	必要な書類
① 氏名、生年月日の変更・訂正 （→注1）	11月21日（月）まで（必着）	住所等変更・訂正届（→p.36）
	11月22日（火）以降 （受験票到着後に届け出てください。）	受験票再発行等申請書（→p.37） （申請方法は、(2)に記載しています。）
② 現住所・電話番号の変更 （→注2）	3月24日（金）まで（必着）	住所等変更・訂正届（→p.36）

（注1）氏名、生年月日の変更・訂正については、次の点に注意してください。

- ・ 11月22日（火）以降に氏名、生年月日についての変更・訂正届が大学入試センターに届いた場合は、受験票の作成・発送作業のため登録内容の修正ができません。受験票到着後に「受験票再発行等申請書」（→p.37）で届け出てください。

（注2）現住所の変更については、次の点に注意してください。

- ・ 市町村合併等による住所表記の変更の場合は、届出の必要はありません。
- ・ 出願後に、現住所を変更しても、試験場は変更できません（→p.32）。
- ・ 11月22日（火）以降に「住所等変更・訂正届」が大学入試センターに届いた場合は、受験票の作成・発送作業のため登録内容の修正ができません。この場合は受験票を志願票に記入された住所に送付します。
- ・ 成績通知を希望しない者については、大学入試センター試験終了後に現住所を変更しても、届出の必要はありません。

(2) 受験票等の再発行、成績請求票の追加発行、過年度成績請求票の発行

これらの発行を希望する場合は、下表のA～Cの届出内容に応じて、必要な書類を封筒に入れて、郵便で大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に申請してください（封筒の表面に「受験票再発行等申請」と朱書すること。）。

なお、受験票については、平成29年1月11日（水）～1月22日（日）の間は、再発行業務は行いません。この期間に申請があったものについては、1月23日（月）から志願者本人あてに送付します。

届出内容	届出上の注意事項	必要な書類
A 再発行 受験票・写真票・成績請求票 （平成29年4月21日（金）必着）	次のア～オに該当する場合は、 受験票、写真票、成績請求票 の全部又は一部を再発行します。 ア 受験票等が、12月14日（水）までに届かない場合（不着） イ 紛失した場合 ウ 汚損又は破損した場合 エ 記載内容に誤りがあった場合 オ 氏名に変更があった場合 ＊ 再発行した受験票等は、当初発行したものと用紙の色が異なります。 ＊ 「 <u>現住所・電話番号の変更・誤り</u> 」の場合は、再発行申請の必要はありません。現住所変更の届出をしてください（→p.34）。 受験票等は再発行すると、最新のものの以外は無効になります。 ただし、「国公立 AO 入試用成績請求票」「私立大学・公私立短期大学用成績請求票」は、再発行してもそれまでのものは無効とはなりません。	ア 受験票再発行等申請書 （37ページをコピーしたものに必要事項を記入する。） ＊ 大学入試センター試験終了後に受験票を再発行申請する場合は、写真欄に写真1枚を貼り付け、必ず署名すること。 イ 返信用封筒 （長形3号：縦23.5cm・横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、672円分の切手（簡易書留郵便・速達料金を含む。）を貼る。） ＊ <u>受験票等が、12月14日（水）までに届かない場合（不着）の再発行申請は、返信用封筒は必要ありません。</u> ウ 当初発行の受験票・写真票・成績請求票 ＊ 申請理由が汚損、破損、記載内容の誤り又は氏名の変更の場合のみ同封すること。
B 追加発行 国公立 AO 入試用及び私立大学・公私立短期大学用成績請求票 （平成29年4月21日（金）必着）	「国公立 AO 入試用成績請求票」「私立大学・公私立短期大学用成績請求票」を当初発行枚数を超過して必要とする場合は、必要な枚数を追加発行します。	ア 受験票再発行等申請書 （37ページをコピーしたものに必要事項を記入する。） イ 返信用封筒 （長形3号：縦23.5cm・横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、672円分の切手（簡易書留郵便・速達料金を含む。）を貼る。）
C 過年度成績請求票の発行	大学入試センター試験の過年度（平成26年度から平成28年度）の成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「 過年度成績請求票 」を提出する必要があります。	

① 志願者本人の氏名と生年月日を記入してください

フリガナ	生年月日	年	月	日
氏名	□昭和 □平成			

② 訂正する箇所のみ、訂正後の内容を記入してください

○氏名	フリガナ	漢字	○生年月日	生年月日	年	月	日
				□昭和 □平成			

○住所	〒						
新郵便番号	(フリガナ)	新住所					

○電話番号 (変更のある電話番号のみ記入してください)

新電話番号 (自宅・下宿・寮)							
新電話番号 (携帯電話)							

◎ 「性別」に登録の誤りがある場合は、直ちに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

③ 確認はがきのコピーを貼り付けてください

確認はがき貼り付け欄

登録内容の訂正期限 平成28年11月2日(水)(消印有効)

高等学校等コード	●●●●●●●●
フリガナ氏名	●●●●●●●●
生年月日	●●●●●●●● 性別 ●
連絡先等	〒●●●●●●●● ●●●●●●●●●●●●●●
成績通知	●● 受験上の配慮 ●●●●●●
イヤホン不適合措置	●●
登録教科	国語 ● ●●●●●●● 地理歴史、公民 ● ●●●●●●● 数学 ● ●●●●●●● 理科 ● ●●●●●●● 外国語 ● ●●●●●●●
別冊子試験問題	数学② ●● 外国語 ●●

提出前に確認してください

氏名にコンピュータで登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられるか、全てカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。

住所の後半部分(マンション名や「字(あざ)」以降の住所など)はカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。

① 「成績通知」「受験上の配慮」「イヤホン不適合措置」は、出願時に申し出た内容を変更することはできません。

② 「登録教科」「別冊子試験問題の有無」を訂正する場合は、11月2日までに、29ページの「登録教科等訂正届」に必要事項を記入して提出してください。

11月22日以降に到着した分については、受験票への印字が間に合いませんので、受験票到着後に手続を行ってください。
→受験案内34ページ

【訂正届の提出者全員】
「確認はがき」のコピーを貼り付けてください。

届出の際は、このページをコピーして使用してください。

出願後

① すべての項目を記入してください

フリガナ	生年月日	年	月	日
氏名	□昭和 □平成			
郵便番号				
現住所				
連絡先電話番号				
-				
高等学校等コード	学校名※			

※ 高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校以外の出身者は出願資格を記入してください。

② A~Cのうち、必要事項に☑チェック・記入をしてください

A 再発行

申請理由	<input type="checkbox"/> 不着 <input type="checkbox"/> 紛失 <input type="checkbox"/> 汚損・破損 <input type="checkbox"/> 記載内容の誤り <input type="checkbox"/> 氏名の変更	※ 「不着」「紛失」以外の理由の場合は、所持している受験票・写真票・成績請求票を同封してください。 誤 → 正 フリガナ → フリガナ 旧氏名 → 新氏名
------	--	--

再発行するもの	今まで発行されていたものは無効になります。 <input type="checkbox"/> 受験票 <input type="checkbox"/> 写真票 (試験終了後は、再発行不要です。) <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立推薦入試用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立前期日程用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立後期日程用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 公立大学中期日程用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立第2次募集用 今まで発行されていたものは無効になりません。 <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立A〇入試用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 私立大学・公私立短期大学用
---------	---

写真	写再試験と行終了後、署名申請に受験票を必要とする場合は、 写真 (4 cm × 3 cm) 写真の裏に氏名を記入し、しっかりと貼ってください。 署名欄 必ず署名してください。
----	---

B 成績請求票の追加発行

発行するものと枚数	<input type="checkbox"/> 国公立A〇入試用 <input type="checkbox"/> 枚 <input type="checkbox"/> 私立大学・公私立短期大学用 <input type="checkbox"/> 枚
-----------	--

C 過年度成績請求票の発行

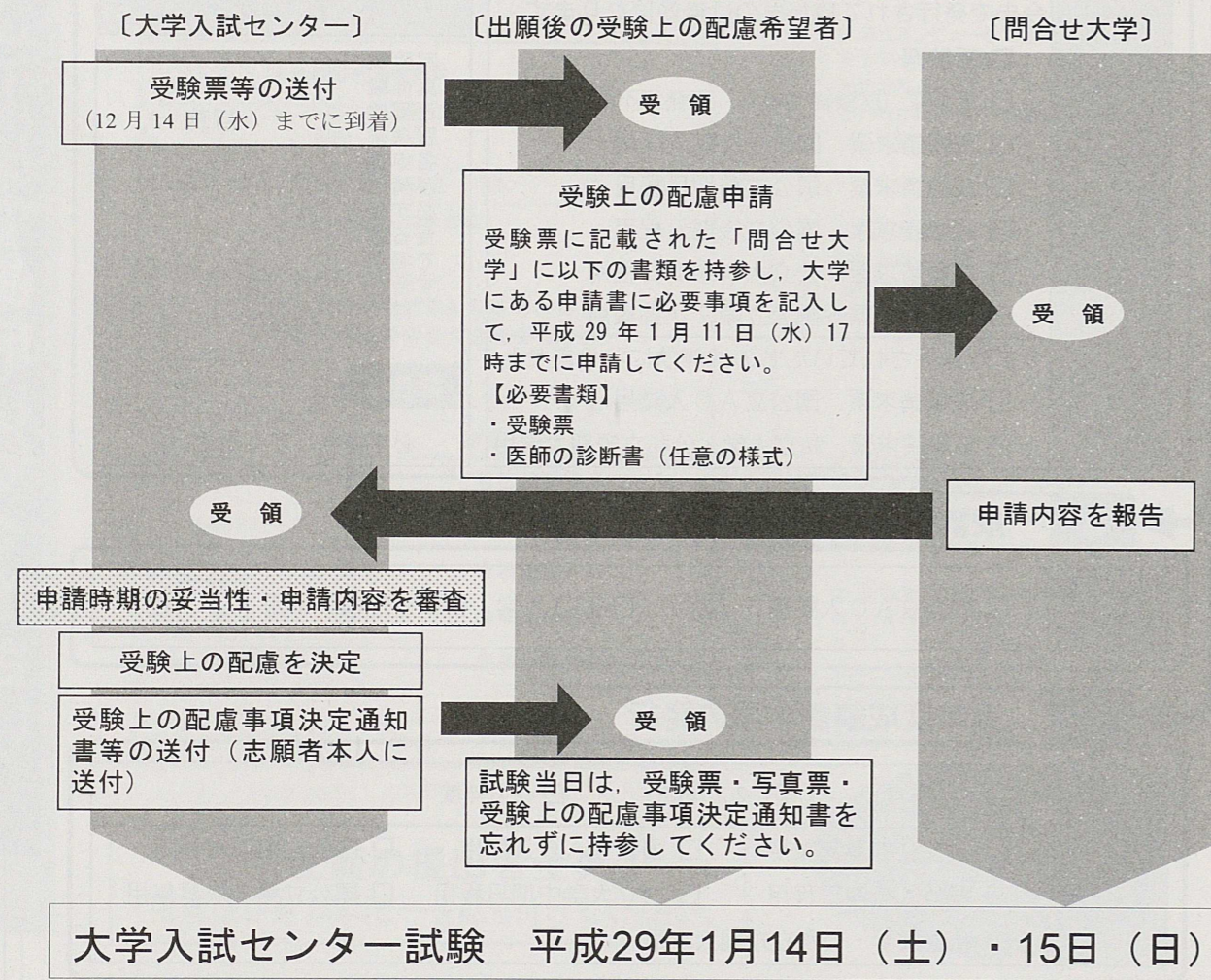
センター試験年度	<input type="checkbox"/> 26年度 <input type="checkbox"/> 27年度 <input type="checkbox"/> 28年度
発行するもの	<input type="checkbox"/> 国公立推薦入試用 <input type="checkbox"/> 国公立A〇入試用 <input type="checkbox"/> 国公立前期日程用 <input type="checkbox"/> 国公立後期日程用 <input type="checkbox"/> 公立大学中期日程用 <input type="checkbox"/> 国公立第2次募集用 <input type="checkbox"/> 私立大学・公私立短期大学用

申請の際は、このページをコピーして使用してください。

出願後

5 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮

- 大学入試センター試験の出願後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため受験上の配慮を希望する者には、申請に基づき大学入試センターで審査の上、「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」に準じた受験上の配慮を決定します。
 なお、この配慮は、申請する理由が出願後に発生したときに限り行うものです。したがって、出願時までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。
- 不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する場合は、受験票の「問合せ大学」欄に記載された大学に、志願者本人又は代理人がまず電話連絡した上で、平成29年1月11日（水）17時までに「受験票」及び「医師の診断書（任意の様式）」を持参し、申請してください。なお、「医師の診断書（任意の様式）」には、発症等の時期及び大学入試センター試験において希望する受験上の配慮が必要な理由を必ず明記してください。大学入試センターでは、「問合せ大学」から回付された書類を審査の上、配慮を決定し、「受験上の配慮事項決定通知書」により志願者に通知します。「受験上の配慮事項決定通知書」受領後は記載内容を志願者本人等が確認し、申請した配慮事項等に漏れがある場合は、大学入試センター事業第1課（→裏表紙）まで直ちに連絡してください。
 また、障害等の程度や希望する配慮によっては、十分な審査を行うため、大学入試センターから、「医師の診断書」以外に追加で書類等の提出を求める場合があります。
- 申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮が行えないこともありますので、不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する必要がある場合には、速やかに申請してください。
- 申請時期が遅い場合には「受験上の配慮事項決定通知書」等が試験前日までに届かないことがあります。この場合、大学入試センターから決定した配慮を電話で連絡します。



D リスニング

1 リスニングの概要

- リスニングを実施する教科・科目
 リスニングは外国語「英語」の一領域として実施します。外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を受験してください。
 なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません(→p.3)。
- 試験時間・解答時間
 リスニングは、ICプレーヤーを使用し、受験者が個々に音声を開き取りながら解答する試験です。試験時間60分の中で、解答開始前にICプレーヤーの操作準備・作動確認・音量調節を受験者各自で行った後、30分間で解答します(→p.40)。
 なお、筆記とリスニングの間には、休憩時間が設けられています。
- リスニングにおける受験上の配慮
 病気・負傷や障害等のために、リスニングにおいて配慮を希望する者は、受験上の配慮を申請してください(→p.15)。
- イヤホン不適合措置
 リスニングで使用するICプレーヤーに付属しているイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置」を申請してください(→p.44)。上記(3)の受験上の配慮とは申請方法が異なるので注意してください。

2 リスニング受験上の注意

- リスニングでは、遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。試験開始時刻(17:10)までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。
- リスニングでは、他の受験者の聞き取りに支障をきたす不必要な音をたてることのないよう注意してください。
- ICプレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかつたり音声が流れなかつたりした場合や、音声が途中で停止するなど聞き取れなくなった場合、問題冊子の乱丁、落丁等、解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。
 なお、試験が終わってから、これらを申し出ることはできません。
- 解答時間中の質問は、一切受け付けません。

3 リスニングの進行

(1) リスニングの進行の概要

外国語(筆記)試験

16:30 外国語(筆記)試験終了

この休憩時間中に

- 携帯電話やスマートフォン、時計など音の出る機器のアラーム設定を解除し、機器の電源を切る。

17:05 受験者入室終了

17:10 試験開始 (*この時刻までに必ず入室)

- 問題冊子、解答用紙配付
- 解答用紙に、受験番号・氏名・試験場コードを記入・マークする。
- ICプレーヤー、イヤホン、音声メモリー配付
- 監督者の指示に従い、ICプレーヤーの操作準備を行う。

確認音声

(約2分間)

- 確認音声(試験問題ではない)を聞いて、ICプレーヤーが正常に動くことを確認し、音量を調節します。

問題音声

(約30分間)

- 再生ボタンを押した後は、試験終了まで自動的に音声が流れるので、問題音声の進行に従って、問題を解答します。問題音声は設問ごとに2回流れます。また、1回目の音声と2回目の音声が流れた後にはそれぞれ、解答するために音声が流れない時間があります。
- 解答は、必ず設問ごとに解答用紙にマークします。問題冊子に記入しておいて、解答時間の途中や最後にまとめて解答用紙にマークしてはいけません。

18:10 試験終了

- 答案回収
- ICプレーヤー・イヤホン・音声メモリー回収

受験者退室

(2) 試験終了後のICプレーヤー等の取扱い

ICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは、試験終了後に回収します。ただし、問題冊子は持ち帰ってください。なお、問題音声は、試験終了後に大学入試センターのホームページ(裏表紙)で確認することができます。

【ICプレーヤーの操作】

1 監督者の指示後、解答用紙裏面のイラスト(→p.41)に従い、「電源ボタン」を「電源ランプ」が緑に光るまで長く押し続ける。

2 監督者の指示後、解答用紙裏面のイラスト(→p.41)に従い、イヤホンを耳につけ、「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光るまで長く押し続けてから、音声を聞きながら音量つまみを回して音量を調節する。

音声中の指示でいったんイヤホンを耳から外す。

3 監督者の解答開始の指示後、解答用紙表面のイラスト(→p.42)に従い、イヤホンを耳につけ、「再生ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光って音声が聞こえるまで長く押し続ける。

*音声に不具合等があれば、ためらわずに、黙って手を高く挙げる。(→p.45)

音声中の指示でイヤホンを耳から外す。

(3) ICプレーヤーの操作

ICプレーヤーの操作は、解答用紙裏面及び表面のイラストに従い、①～④を受験者が各自で行います。⑤～⑦及び表面のイラスト(→p.42)については、それぞれ監督者の指示があるまで行うことができません。

裏面

<ICプレーヤーの準備方法>

①～④を各自で行ってください。分らないことがあったら、手を挙げて知らせてください。⑤～⑦は指示があるまで行わないでください。

1 ICプレーヤーに差し込まれたイヤホンを、念のため、もう一度押し込み、奥までしっかりと差し込まれていることを確認した後、イヤホンの「コードどめ」をほどく。

2 ICプレーヤーを持ち、音声メモリーの「保護カバー」を上方向に開ける。

3 音声メモリーを袋から取り出す。ICプレーヤー表面が見えるようにした状態で、矢印の面を表にして、奥に突き当たるまでしっかりと差し込む。

4 「保護カバー」を閉じる。なお、閉じる際は、「保護カバー」の真ん中を押す。

5 ICプレーヤー裏側の「絶対シールド」を引き抜き、ICプレーヤーが入っていた袋の中に入れる。
(注1) 引き抜く時に裏面のボタンを押さないように注意すること。
(注2) 次の指示があるまで、⑥には進まないこと。

6 ①の「電源ボタン」を、「電源ランプ」が光るまで長く押し続ける。
(注) 次の指示があるまで、⑦には進まないこと。

7 ICプレーヤー右側の「スライドカバー」を下方向に移動させる。

イヤホンの左右を確認してから、耳に付け、②の「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。「作動中ランプ」が光ったら音量つまみを回して、聞きやすい音量に調節する。
※左右を確認して装着する
コードは前

⑤～⑦は、それぞれ監督者の指示を待たないこと

リスニング

リスニング

確認はじめ
(監督者指示)

解答はじめ
(監督者指示)

解答やめ
(監督者指示)

英語 (リスニング) 解答用紙

表面

マーク例

良い例

悪い例

① 受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしなさい。

受験番号欄		英語	
千位	百位	十位	一位
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

② 氏名・フリガナ、試験場コードを記入しなさい。

フリガナ				
氏名				
試験場	十位	百位	千位	万位
コード				

注意事項

- 訂正は、消しゴムできれいに消し、消し残してはいけません。
- 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしてはいけません。
- 汚したり、折りまげたりしてはいけません。
- 音声の停止等のICプレーヤーの不具合や、問題冊子の異常で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げなさい。監督者が筆談用の用紙を渡しますので、トラブルの内容を記入しなさい。試験が終わってから申し出ることはできません。

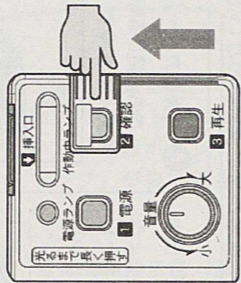
解答番号	1	2	3	4	5	6
1	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
2	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
3	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
4	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
5	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
6	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
7	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
8	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
9	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
10	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
11	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
12	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
13	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

解答番号	1	2	3	4	5	6
14	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
15	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
16	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
17	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
18	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
19	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
20	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
21	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
22	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
23	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
24	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
25	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

「解答はじめ」の指示があったら、次の手順で操作すること。

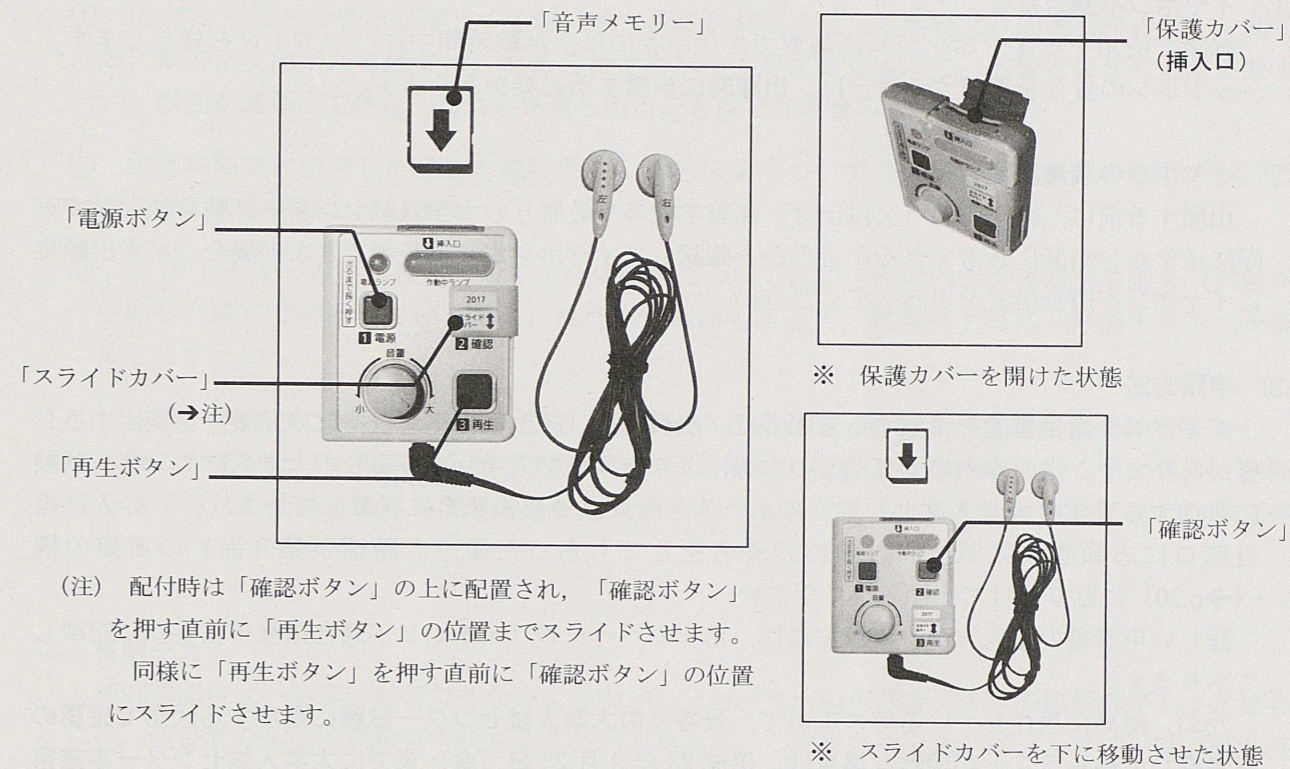
解答開始時の操作手順

- イヤホンの左右を左右を確認しながら、耳に付ける。
- 「スライドカバー」を上方向に移動させる。
- ③の「再生ボタン」を「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。



以後は、問題音声の進行に従って、解答しなさい。

【参考】 各部の名称



(注) 配付時は「確認ボタン」の上に配置され、「確認ボタン」を押す直前に「再生ボタン」の位置までスライドさせます。同様に「再生ボタン」を押す直前に「確認ボタン」の位置にスライドさせます。

※ スライドカバーを下に移動させた状態

※ 保護カバーを開けた状態

(4) IC プレーヤーの操作の注意点

- IC プレーヤーは各ボタンを単にひと押しただけでは、作動しません。①電源ボタンは電源ランプが緑に光るまで、②確認ボタンと③再生ボタンは作動中ランプが赤く光るまで、長く押し続けます。
- ①電源ボタン、②確認ボタン、③再生ボタンの順番を守らない操作は受け付けません。「確認ボタン」を押し、確認音声を取った後でないと「再生ボタン」を押しても問題音声は流れません。
- 各ボタンを押した後に音声メモリーを引き抜くと、再び音声を再生することができません。音声メモリーを差し込み、保護カバーを閉じた後は、保護カバーを開けないでください。
- IC プレーヤーには「一時停止」、「早送り」、「巻き戻し」の機能はありません。

4 IC プレーヤーの操作体験

大学入試センターのホームページ (→裏表紙) にある「IC プレーヤー操作ガイド」では、IC プレーヤーの操作を体験することができます。IC プレーヤーの3つのボタンの長押しの方法や操作上の注意事項、リスニングの流れが分かるようになっています。

また、これまでの試験で実際に使用された問題音声を聞くことができます。

5 イヤホンが装着できない場合

(1) イヤホン不適合措置

試験で使用するイヤホンが耳に装着できない者には、試験時間中にヘッドホンを貸与します。ヘッドホンの貸与を希望する場合は、**出願時に申請する**必要があります。

(2) イヤホンの装着具合の確認

出願する前に、在学する（又は出身）高等学校等や最寄りの大学入試センター試験参加大学で実際にイヤホンが耳に装着できるかどうかを確認し、イヤホンが耳に装着できない場合、必ず出願時にイヤホン不適合措置を申請してください。

(3) 申請方法

イヤホン不適合措置を希望する志願者は、出願時に「イヤホン不適合措置申請書」を提出する必要があります。次の枠内の①又は②の方法により申請書を入手し、最寄りの大学入試センター試験に参加する大学（大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に掲載しています。）の入試担当窓口で志願者本人が出向き確認の署名をしてもらった後、志願票（第Ⅱ面）の所定の欄（→p.20）に貼り付けて出願してください。

詳しい申請書の記入方法や申請方法は、ホームページの「イヤホン不適合措置申請書」に記載してあります。

なお、離島に居住している等の理由で、最寄りの大学入試センター試験に参加する大学で確認の署名をしてもらうことが困難な場合は、平成28年9月23日（金）までに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に連絡してください（出願期間は志願者問合せ専用電話が混み合いますので、早めに連絡してください。）。

① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）の「英語リスニングについて」から「イヤホン不適合措置申請書」をダウンロードしてください。

② ホームページからダウンロードできない場合は、次のア・イを封筒（表面に「イヤホン不適合措置申請書請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に送付してください。

ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等

イ 返信用封筒（長形3号：縦23.5cm・横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、82円分（速達希望の場合は362円分）の切手を貼る。）

(4) 注意事項

出願時にイヤホン不適合措置の申請がない場合は、試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても、ヘッドホンの貸与は行いません。この場合、イヤホンを手で押さえて受験することになります。

なお、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、イヤホンを装着できなくなった場合は、出願後の不慮の事故等による受験上の配慮（→p.38）によりヘッドホンの貸与を申請することができます。

6 解答時間中の事故等と再開テスト

(1) 解答時間中の事故等への対応

① ICプレーヤーの音声の停止する等により聞き取れなくなった場合又は問題冊子の乱丁、落丁等、解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。試験が終わってから、これらを申し出ることはできません。

② 解答時間中に挙手した場合の監督者との意思伝達については、周囲の受験者の解答の妨げにならないよう筆談で行います。

③ ICプレーヤーの不具合等を申し出た受験者については、申出の内容や再開解答番号（試験が中断した時点で解答していた番号）について確認した上で、試験終了後に「再開テスト」を実施します。

④ 体調不良等により退室が必要となる受験者がいる場合は、監督者から周囲の受験者に対し、試験の中断を指示することがありますので、その際は、監督者の指示に従ってください。中断を指示された受験者は「再開テスト」を受験することができますので、試験終了まで静かに待機しててください。

(2) 再開テスト

解答時間中に、解答が続行できないようなICプレーヤーの不具合や不慮の事故等があった場合には、監督者の指示で試験を中断することがあります。このようなときには、リスニングの試験終了後、別のICプレーヤーを使って当初解答していたものと同じ試験問題により、中断した設問から試験を再開します（この試験を「再開テスト」といいます。）。

なお、解答時間中に日常生活騒音等が発生し、解答に支障があったと申し出ても、再開テストの対象とはなりません（→p.47）。

E 試験

1 受験に当たっての主な注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験場は受験票で指定します。指定された試験場以外では受験できません。
- ② 受験票及び写真票は、成績請求票と切り離し、試験当日必ず持参してください。
- ③ 受験教科として登録していない教科の試験時間は、試験室に入室できません。万一、登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。
- ④ 受験者入室終了時刻から試験終了までは、試験室から退室できません。
- ⑤ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻 (17:10) までに入室していない場合は受験することができません。なお、「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合は、遅刻者の試験室への入室限度（「地理歴史、公民」は 9:50、「理科②」は 15:50）までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。
- ⑥ 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合、試験当日に 1 科目のみを受験する（1 科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。同様に、「1 科目受験する」と登録した場合、試験当日に 2 科目を受験することもできません。
- ⑦ 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合の試験時間は 130 分です。第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は休憩時間ではありませんので、トイレ等で一時退室することはできません。あらかじめトイレ等を済ませてから入室するようにしてください。
- ⑧ 「理科①」は必ず 2 科目を受験してください。1 科目のみの受験はできません。
- ⑨ 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。
- ⑩ インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験はできません。追試験の受験を申請してください (→p.50)。

(2) 試験時間中の注意事項

① 所持品の取扱い

ア 受験票、写真票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、黒鉛筆 (H, F, HB に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、シャープペンシル (メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る。)、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)、時計 (辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー (袋又は箱から中身だけ取り出したもの。)、目薬です。これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

イ 「定規 (定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)」 「コンパス」 「電卓」 「そろばん」 「グラフ用紙」 等の補助具や、「電子辞書」 「携帯電話」 「スマートフォン」 「腕時計型端末」 「IC レコーダー」 等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。

ウ 試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているると不正行為となることがあります。

エ 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

② 解答上の注意事項

ア 解答には、必ず黒鉛筆 (H, F, HB に限る。) 及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。黒鉛筆以外のもの (シャープペンシル等) を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。

イ 解答用紙に解答科目がマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、解答科目が特定できないため、0 点となります。

ただし、次の事例のように解答科目が特定できる場合は、特定できた科目として採点します。

(ア) 外国語・・・別冊子試験問題を希望していない場合は、別冊子試験問題の科目をマークしていても、別冊子試験問題が配付されていないため、「英語」として採点します。

(イ) 数学②・・・別冊子試験問題を希望していない場合は、別冊子試験問題の科目をマークしていても、別冊子試験問題が配付されていないため、「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」のいずれか 1 科目をマークしている場合に限り、マークしている「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」で採点します。

(注) 追試験では、別冊子試験問題の科目の受験を申請している場合、申請科目のみの試験問題が配付されるため、申請科目で採点します。

ウ 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

エ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない (消し跡が残っている) 場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。

③ その他の注意事項

ア 配付された問題冊子は、その試験時間が終了するまで、試験室から持ち出すことはできません。持ち出した場合は、不正行為となります。

イ 地理歴史、公民においては、地理歴史と公民の 2 冊の問題冊子が配付されます。試験時間中は 2 冊の問題冊子を机上に置いてください。

また、数学②、外国語において別冊子試験問題の配付を希望した場合は、希望した別冊子試験問題と数学②では「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」の問題冊子が、外国語では「英語 (筆記)」の問題冊子が配付されます。この場合においても試験時間中は 2 冊の問題冊子を机上に置いてください。

ウ 試験時間中に監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。マスクや帽子を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

エ 試験時間中に日常生活騒音等 (監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、リスニングのイヤホンやヘッドホンからの音もれ、周囲の建物のチャイム音など) が発生した場合でも救済措置は行いません。

(3) 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した大学入試センター試験の全ての教科・科目の成績を無効とします。

- ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ク 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、参考書をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験監督者の指示に従わず、ICプレーヤーを操作したり、ICプレーヤーの不具合について虚偽の申出をすること。
- エ ICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーを試験室から持ち帰ること。
- オ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- カ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- キ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ク その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(4) 解答用紙の正しいマーク・記入例

(試験場コード 200011, 受験番号 1120C の駒場次郎が「数学 I・数学 A」を解答する場合)

マーク例

良い例	悪い例
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>

① 受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしなさい。

受験番号欄				
千位	百位	十位	一位	英字
1	1	2	0	C
-	0	0	<input checked="" type="radio"/>	A
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	1	1	B
2	2	<input checked="" type="radio"/>	2	C
3	3	3	3	H
4	4	4	4	K
5	5	5	5	M
6	6	6	6	R
7	7	7	7	U
8	8	8	8	X
9	9	9	9	Y
-	-	-	-	Z

③

- ・1科目だけマークしなさい。
- ・解答科目欄が無マーク又は複数マークの場合は、0点となります。

解答科目欄	
数 学 I ○	数 学 A ●

② 氏名・フリガナ、試験場コードを記入しなさい。

フリガナ	ユマバジロウ												
氏名	駒場次郎												
試験場コード	<table border="1"> <tr> <th>十万位</th> <th>万位</th> <th>千位</th> <th>百位</th> <th>十位</th> <th>一位</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	十万位	万位	千位	百位	十位	一位	2	0	0	0	1	1
十万位	万位	千位	百位	十位	一位								
2	0	0	0	1	1								

2 追試験及び再試験

(1) 追試験の実施

① 追試験の対象者

- ア 病気（インフルエンザ・ノロウイルス・風邪等を含む。）・負傷により試験を受験できない者
- イ 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者
- ウ その他やむを得ない事由（両親等の危篤・自宅の火災等）により試験を受験できない者

② 実施期日は、平成 29 年 1 月 21 日（土）、22 日（日）です。ただし、(2)の再試験をこの期日より後に実施する必要がある場合は、再試験と同一の期日に実施します。

③ 出題教科・科目及び試験時間等は、3～5 ページのとおりです。

④ 追試験の試験場は、原則として全国を 2 地区に分け地区ごとに 1 か所設定します。
なお、地区別の試験場は、受験票等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示します。

⑤ 追試験の受験申請方法等の詳細については、「受験上の注意」に明示します。

⑥ 追試験についての再試験及び追試験はありません。

(2) 再試験の実施

① 再試験は、雪・地震等による災害、試験実施上の事故、その他の事情により、本試験が所定の期日に実施できない又は完了しなかった場合のみ実施します。

② 再試験の実施期日は、平成 29 年 1 月 21 日（土）、22 日（日）とし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施します。

③ 再試験は、原則として所定の期日までに受験希望を申し出た場合に許可します。

④ 再試験についての再試験及び追試験はありません。

F 試験実施後

1 正解・平均点等の発表

(1) 正解等の発表

大学入試センター試験の本試験、追試験・再試験の正解及び配点については、各日の全試験終了後に、その日行われた科目分を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(2) 平均点等の発表

大学入試センター試験の平均点等については、平成 29 年 1 月 18 日（水）に中間発表を、2 月 2 日（木）に最終発表を、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で行う予定です。

2 得点の調整

(1) 得点調整について

大学入試センター試験の本試験において次の各科目間で、原則として、20 点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。
ただし、受験者数が 1 万人未満の科目は得点調整の対象としません。

- ① 地理歴史の「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」の間
- ② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間
- ③ 理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」の間

(2) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無については、平成 29 年 1 月 20 日（金）（予定）に発表し、得点調整を行う場合は、対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で公表します。

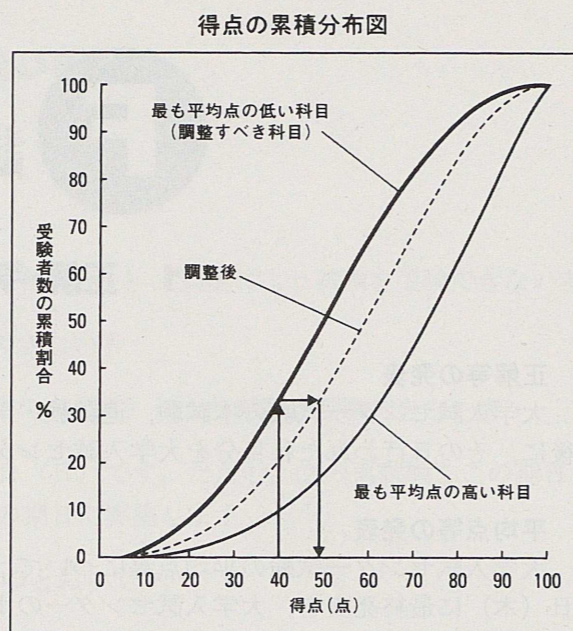
(3) 得点調整の方法

- ① 得点調整は、(1)の①～③のグループごとに、「分位点差縮小法」*という方式を用いて行います。
- ② 得点調整に当たっては、対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から、平均点差の全てを調整するのではなく、調整後も平均点差が 15 点（通常起り得る平均点の変動範囲）となるようにします。

* 「分位点差縮小法」とは、得点調整の対象となる科目のうち、最も平均点の高い科目と最も平均点の低い科目の得点の累積分布を比較し、図の縦軸の受験者数の累積割合(%)が等しい点(等分位点)の差(分位点差)を、一定の比率で縮小する方式です。

また、平均点が最大及び最小以外の科目についても、素点の平均点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。縮小の比率は、15点÷(最も平均点の高い科目の平均点-最も平均点の低い科目の平均点)とします。

この方式により、最も平均点の低い科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。



3 試験成績の大学への提供方法

- (1) 大学入試センターは、大学入試センター試験に参加する各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績を、請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については、大学入試センター試験出願前までに、各大学の募集要項等で確認してください。
- (2) 「国語」の特定分野を利用する大学へは、「国語」の得点とは別に出題分野別(「近代以降の文章」「古典(古文、漢文)」)の得点も提供します。
- (3) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において2科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき「第1解答科目、第2解答科目別の得点及びその合計点」又は「第1解答科目の得点」のいずれかを提供します。
なお、大学が1科目のみの得点を利用する場合には、**第1解答科目の得点を優先して利用**することがありますので、必ず、志望大学の募集要項等で確認してください。
- (4) 「理科①」の成績については、選択した科目別の得点及びその合計点を提供します。
- (5) 「英語」の成績については、筆記、リスニング別の得点を提供します。
- (6) 大学入試センター試験に参加する各大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると、次表のとおりです。

志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
国語、外国語の2教科から1教科選択	当該大学の志願者が国語、外国語を受験していれば、この2教科の得点
「物理」「化学」「生物」「地理」の4科目から1科目選択	当該大学の志願者が「理科②」で2科目を受験した場合、第1解答科目として「物理」を、第2解答科目として「化学」を解答していれば、大学からの請求に基づき、この2科目の得点とその合計点、又は第1解答科目の「物理」の得点のいずれか

G その他

1 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する選抜

大学入試センター試験に参加する大学では大学入試センター試験の過年度(過去3年前まで)の成績を当該年度の入学選抜に利用することがあります。

過年度成績の利用については各大学の募集要項等で確認してください。

(1) 大学入試センター試験の「過年度成績請求票」について

大学入試センター試験の過年度(平成26年度～平成28年度)の成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「過年度成績請求票」を提出する必要がありますので、手続方法(→p.35)に従って、大学入試センターに申請してください。

(2) その他の注意事項

- ① 平成30年度以降の大学入学選抜において、平成29年度の大学入試センター試験の成績を利用する大学へ出願する際には、「平成29年度大学入試センター試験受験票」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。
- ② 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する大学へ出願する際には、「該当する年度の大学入試センター試験受験票」も必要となりますので、紛失して手元にない場合は、志望大学に問い合わせてください。

2 志望大学に確認すること

大学入試センター試験の志願者が志望大学に確認すべき主な事項は、次のとおりです。各大学の募集要項等で確認してください。

- (1) 志望大学が大学入試センター試験で志願者に解答させる教科・科目
大学入試センター試験に参加する各大学は、大学入試センター試験の出題教科・科目の中から、入学志願者に解答させる教科・科目及びその利用方法を定めています。各志望大学の募集要項等をよく読んで確認の上、大学入試センター試験の出願をしてください。
- (2) 志望大学へ出願する際に提出する「成績請求票」の種類等(→p.30)
- (3) 志望大学を受験する際の「大学入試センター試験受験票」の取扱い(→p.30)
- (4) 障害等のある志願者の志望大学との事前相談(→p.16)

Table listing educational institutions in Hokkaido, Aomori, Iwate, and Miyagi. Includes categories like '特別支援学校' (Special Support Schools), '高等学校' (High Schools), and '高等専門学校' (National Institute of Advanced Industrial Education). Lists school names, addresses, and phone numbers.

Table listing educational institutions in Fukushima, Ibaraki, and Tochigi. Includes categories like '特別支援学校' (Special Support Schools), '高等学校' (High Schools), and '高等専門学校' (National Institute of Advanced Industrial Education). Lists school names, addresses, and phone numbers.

等H 高等学校
コード表

等H 高等学校
コード表

Table listing educational institutions in Kanagawa Prefecture, categorized by type (Special Support Schools, Higher Specialized Schools, Private Higher Schools, etc.) and region (Municipalities, Cities, Towns, Villages).

Table listing educational institutions in Nagano Prefecture, categorized by type (Special Support Schools, Higher Specialized Schools, Private Higher Schools, etc.) and region (Municipalities, Cities, Towns, Villages).

等H高等学校
コード表

等H高等学校
コード表

Table listing educational institutions across various prefectures including Gifu, Toyama, Ishikawa, and Fukui. It includes names of schools, their types (e.g., 高等学校, 専門学校), and specific details like addresses and phone numbers.

Table listing educational institutions across various prefectures including Nagano, Gifu, Shizuoka, and Aichi. It includes names of schools, their types, and specific details like addresses and phone numbers.

等H 高等学校
コード表

等H 高等学校
コード表

Table listing educational institutions in Aichi Prefecture (愛知県), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 掛川特別支援学校 and 豊田工業高専.

Table listing educational institutions in Gifu Prefecture (岐阜県), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 弘明特別支援学校 and 岐阜大学.

Table listing educational institutions in Shizuoka Prefecture (静岡県), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 静岡大学 and 静岡工業専門学校.

Table listing educational institutions in Mie Prefecture (三重県), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 三重大学 and 津市立高等学校.

Table listing educational institutions in Nagano Prefecture (長野県), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 信州大学 and 信州工業専門学校.

Table listing educational institutions in Kanagawa Prefecture (神奈川県), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 横浜国立大学 and 横浜国立大学付属横浜高等学校.

Table listing educational institutions in Chiba Prefecture (千葉県), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 千葉大学 and 千葉工業大学.

Table listing educational institutions in Tokyo Prefecture (東京都), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 東京都立大学 and 東京都立第一高等学校.

Table listing educational institutions in Osaka Prefecture (大阪府), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 大阪府立大学 and 大阪府立第一高等学校.

Table listing educational institutions in Hyogo Prefecture (兵庫県), including special support schools, private high schools, and public high schools. Includes names like 兵庫県立大学 and 兵庫県立第一高等学校.

等H高等学校コード表

等H高等学校コード表

Table listing educational institutions in Nagano Prefecture, including names, addresses, and codes. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Niigata Prefecture, including names, addresses, and codes. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Toyama Prefecture, including names, addresses, and codes. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Gifu Prefecture, including names, addresses, and codes. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Iwate Prefecture, including names, addresses, and codes. Includes sections for '国立' (National), '公立' (Public), and '私立' (Private) schools.

Table listing educational institutions in Aomori Prefecture (青森県), including elementary, middle, high, and vocational schools, with their respective codes and names.

Table listing educational institutions in Iwate Prefecture (岩手県), including elementary, middle, high, and vocational schools, with their respective codes and names.

Table listing educational institutions in Miyagi Prefecture (宮城県), including elementary, middle, high, and vocational schools, with their respective codes and names.

Table listing educational institutions in Fukushima Prefecture (福島県), including elementary, middle, high, and vocational schools, with their respective codes and names.

Table listing educational institutions in Kagoshima Prefecture, including middle schools, special support schools, and universities. Includes school names, addresses, and codes.

Table listing educational institutions in Miyazaki Prefecture, including special support schools, universities, and vocational schools. Includes school names, addresses, and codes.

Table listing educational institutions in Okinawa Prefecture, including special support schools, universities, and vocational schools. Includes school names, addresses, and codes.

Table listing educational institutions in Kagoshima Prefecture, including special support schools, universities, and vocational schools. Includes school names, addresses, and codes.

Table listing educational institutions in Kagoshima Prefecture, including special support schools, universities, and vocational schools. Includes school names, addresses, and codes.

2 高等学校卒業程度認定試験等, 外国の学校等, 文部科学大臣の指定した者, 認定, 在外教育施設, 専修学校の高等課程

51000K	高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに合格見込みの者
	大学入学資格検定	大学入学資格検定に合格した者
52000E	外国の学校等	外国において, 学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者, 又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
53000A	文部科学大臣の指定した者	海技教育機構(旧海員学校)の本科を卒業した者及び平成 29 年 3 月卒業見込みの者, 国際バカロレア資格取得者, アビトゥア資格取得者, バカロレア資格(フランス共和国)取得者, GCEA レベル取得者等
54000F	認定	大学において, 個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者)であって, 当該者をその後に入学者とする大学において, 大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
55000A	在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
56000G	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

志望大学の選抜実施日程

大学入試センター試験参加大学の平成 29 年度入学者選抜の主な実施日程は次のとおりです。

(1) 国公立大学

入学者選抜要項発表	【平成 28 年】 7 月 31 日(日)まで
募集要項発表	12 月 15 日(木)まで
推薦入試(大学入試センター試験を課さない場合)の結果発表(実施大学のみ)	【平成 29 年】 1 月 20 日(金)まで
出願期間(前期日程, 後期日程, 公立大学中期日程への出願)	1 月 23 日(月)から 2 月 1 日(水)まで
第 1 段階選抜(前期日程), 推薦入試(大学入試センター試験を課す場合), AO 入試の結果発表(実施大学のみ)	2 月 8 日(水)まで
第 1 段階選抜(公立大学中期日程)の結果発表(実施大学のみ)	2 月 20 日(月)まで
国公立大学の前期日程試験実施	2 月 25 日(土)から
第 1 段階選抜(後期日程)の結果発表(実施大学のみ)	2 月 28 日(火)まで
公立大学の中期日程試験実施	3 月 8 日(水)以降
公立大学の前期日程合格発表	3 月 1 日(水)から 3 月 10 日(金)まで
国立大学の前期日程合格発表	3 月 6 日(月)から 3 月 10 日(金)まで
国公立大学の後期日程試験実施	3 月 12 日(日)以降
公立大学の中期日程合格発表	3 月 20 日(月)から 3 月 23 日(木)まで
国公立大学の後期日程合格発表	3 月 20 日(月)から 3 月 24 日(金)まで

(注) 選抜実施日程は大学によって上表と異なる場合がありますので, 必ず各大学の募集要項等で確認してください。

(2) 私立大学・公私立短期大学

大学入試センター試験に参加する私立大学・公私立短期大学の入学者選抜の実施日程については, 大学入試センター試験の実施前に出願受付を行う大学や 2 月以降に出願受付を行う大学など様々です。それぞれの実施日程は, 各大学の募集要項等で確認してください。

こんなときは？

分からない	出願資格（証明書類）	→ p. 6
	出願方法	→ p.11
	志願票の記入方法	→ p.18
	検定料等の払込方法	→ p.24
届かない	確認はがき	→ p.26
	受験票	→ p.30
変更したい	住所，氏名，電話番号の変更	→ p.34
再発行してほしい	受験票・成績請求票	→ p.35
追加発行してほしい	成績請求票（国公立AO入試用，私立大学・公 私立短期大学用のみ）	
過年度成績利用大学に 出願したい	過年度成績請求票発行	
高卒認定について 知りたい	文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係 ☎03-5253-4111（代）	

大学入試センター試験に関するよくある質問はこちら

「センター試験Q&A（よくある質問）」

<http://www.dnc.ac.jp/center/faq.html>

スマートフォン用サイトもあります → <http://www.dnc.ac.jp/sp/>



志願者問合せ専用電話（大学入試センター事業第1課）

TEL 03-3465-8600

9:30~17:00（土・日曜，祝日，12月29日~1月3日を除く）

〒153-8501 東京都目黒区駒場2-19-23

独立行政法人 大学入試センター事業第1課

<http://www.dnc.ac.jp/>

非売品

まず、下表の1~8の項目を確認して、「はい」を○で囲んでください。

封をする前

1 5 1 8 8 7 9

切手430円
(50gまで)
→郵便局の
窓口へ

日本郵便株式会社
代々木郵便局留置

独立行政法人

大学入試センター

事業第一課
行

簡易書留

大学入試センター試験
出願書類在中

10月7日(金) 消印有効

簡易書留引受番号

志願者	住所	□□□-□□□□
	(フリガナ)	
者	氏名	
	出願資格 <small>該当する資格の()に○を記入してください。</small>	<input type="checkbox"/> 高等学校の卒業者 <input type="checkbox"/> 専修学校の高等課程 <input type="checkbox"/> 中等教育学校の卒業者 <input type="checkbox"/> 文部科学大臣の指定した者 <input type="checkbox"/> 高等専門学校3年の修了者 <input type="checkbox"/> 高卒認定・大検 <input type="checkbox"/> 外国の学校等 <input type="checkbox"/> 個別入学資格審査 <input type="checkbox"/> 在外教育施設 <input type="checkbox"/> 飛び入学

	点 検 項 目	左の項目を確認して、「はい」を○で囲んでください。
1	あなたは、高等学校（中等教育学校、特別支援学校を含む。）の在校生ではありませんか？（→p.11） *在校生は出願書類を在籍する学校へ提出し、この封筒は使用しないでください。（ただし、高等学校卒業程度認定試験の資格で出願する者は、この封筒で個人出願してください。）	はい
2	封筒の中に「志願票」が入っていますか？	はい
3	志願票の第Ⅱ面に「日附印の押された検定料受付証明書」が貼り付けられていますか？（→p.24）	はい
4	封筒の中に「卒業証明書」などの資格証明書が入っていますか？（→p.6）	はい
5	「卒業証明書」などは、発行元の封筒*から出してください（封筒は送付不要）。 *「開封無効」などの表示がある場合でも、大学入試センター試験の出願に当たっては開封してください。	はい
6	受験上の配慮を申請する人は、「受験上の配慮申請書」「診断書等」を同封していますか？ *受験上の配慮の出願前申請を行った人を除く。	はい (該当する人のみ ○を付ける。)
7	クリップなどの不要なものは入っていませんか？	はい
8	封筒に入っているのは1人分の志願票ですか？	はい

★ 封をしてから、以下の9・10に従って郵送してください。

9	郵便ポストに投函してはいけません。	はい
10	郵便局の窓口で「簡易書留郵便」扱いにしてください。 *窓口で渡される、「簡易書留郵便物受領証」を保管しておいてください。	はい

大学入試センター事業第1課 ☎03-3465-8600 <http://www.dnc.ac.jp/>

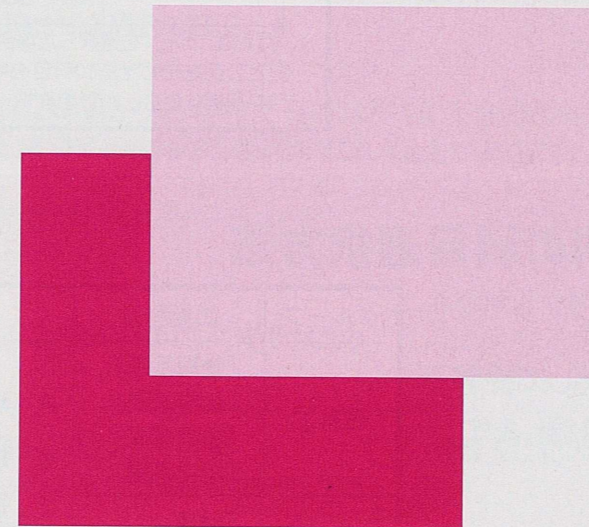
志願者の皆さんへ

ここがポイント

平成29年度

大学入試センター試験

～ 詳しくは「受験案内」で確認してください ～



独立行政法人大学入試センター

問合せ先

独立行政法人大学入試センター事業第1課

TEL 03-3465-8600 (9:30～17:00 土・日曜, 祝日, 12月29日～1月3日を除く)

URL <http://www.dnc.ac.jp/>

ポイント1

受験教科の事前登録 (受験案内 p. 13)

出願時に志願票で次の事項を登録します。

- ① 試験当日受験する教科
- ② 地理歴史, 公民の受験する科目数 ⇒ **Check1**
- ③ 理科の科目選択方法 ⇒ **Check2**
- ④ 別冊子試験問題の配付希望 (数学②, 外国語のみ)

Check1 地理歴史, 公民の受験する科目数

地理歴史, 公民は 1 教科として扱い、
まとめて受験科目数を登録します。

地理歴史と公民を合わせた10科目について、次の3つのうちから1つを選択して登録

地理歴史	A…1科目受験する
公民	B…2科目受験する
	X…受験しない

※ 例えば、「A」を選択した場合は、試験当日に、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から自由に1つの解答科目を選択することができます。

Check2 理科の科目選択方法

右表の出題科目を参照して受験する科目選択方法を登録します。

グループ	出題科目	科目選択方法
理科①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	A : 理科①から 2 科目選択 B : 理科②から 1 科目選択
理科②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	C : 理科①から 2 科目選択及び 理科②から 1 科目選択 D : 理科②から 2 科目選択

出願時は次のうちから 1 つを選択して登録

理科	A…理科①を受験する
	B…理科②を1科目受験する
	C…理科①を受験, 理科②を1科目受験する
	D…理科②を2科目受験する
	X…受験しない

志願票の記入が終わったら、必ずコピーをとっておいてください。
登録内容を確認する際に必要となります。

ポイント2

登録教科等の確認・訂正 (受験案内 p. 26~28)

- ① 確認はがきが届いたら (10月25日までに到着), 出願内容が正しく登録されているか確認します。
- ② 訂正が必要な場合は「住所等変更・訂正届」「登録教科等訂正届」を使って訂正します。訂正期限は11月2日 (消印有効) です。

訂正項目により、必要な書類を大学入試センターに郵送してください。

訂正項目	必要な書類
ア 氏名, 生年月日, 連絡先等	住所等変更・訂正届
イ 受験教科等の登録内容, 別冊子試験問題の希望	登録教科等訂正届
ウ 検定料と登録教科数に相違がある場合の訂正 ★	

★ 検定料と登録教科数に相違がある場合は、確認はがきに下表のとおり表示があります。
訂正がない場合は、希望する教科等を受験できない場合があります。

検定料と登録教科数の相違がある場合の表示内容	訂正がない場合の登録方法
検定料が不足しています ⇒2教科以下の検定料を払い込み登録教科数が3教科以上の場合	志願票の受験教科欄に「受験する」と記入した教科のうち、上から 2 教科で登録します。
登録教科数より多く検定料を払い込んでいます ⇒3教科以上の検定料を払い込み登録教科数が2教科以下の場合	志願票に記入されたとおり登録します。

Check1 上記の手続で訂正した場合

受験票 (12月14日までに到着) で訂正した内容を必ず確認してください。

Check2 試験当日は…

- 登録していない教科は受験できません。
- 試験当日に「地理歴史, 公民」の登録した受験科目数, 「理科」の登録した科目選択方法を変更することはできません。

ポイント3

受験に当たっての注意事項 (受験案内 p. 46~48)

Check1 「地理歴史, 公民」「理科②」について

■ 2科目受験登録者は、試験当日に1科目のみを受験することはできません。

「地理歴史, 公民」及び「理科②」については、あらかじめ登録した受験科目数により試験室の割り当てを行うことから、「2科目受験する」と登録した場合、試験当日に1科目のみを受験する(1科目だけ受験を取りやめる)ことはできません。同様に、「1科目受験する」と登録した場合は、試験当日に2科目を受験することはできません。

■ 第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は休憩時間ではありません。

2科目を受験する場合の試験時間は130分です。第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は答案回収等に必要の時間であり、休憩時間ではありません。トイレ等の退室はできません。

Check2 試験時間中の所持品の取扱い

■ 辞書・電卓等の機能の有無が判別しにくいもの、端末機能のついたもの及び大型の置時計は時計として使用できません。

■ 試験時間中に次のものを使用すると不正行為となります。

【使用すると不正行為となるもの】

「定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)」 「コンパス」 「電卓」 「そろばん」 「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」 「携帯電話」 「スマートフォン」 「腕時計型端末」 「ICレコーダー」等の電子機器類

不正行為を行った場合は、それ以後の受験はできなくなります。
また、受験した全ての教科・科目の成績が無効となります。

必ずお読みください

志願票は志願者本人が記入すること

1 記入する前に確認すること

- ① 黒のボールペンで丁寧に記入してください。
- ② 志願票は、第I面と第II面の両面を必ず記入してください。
- ③ 受験案内の18～21ページを必ず参照してください。

2 誤って記入してしまった場合

- ① 二重線を引き、余白部分に訂正してください（訂正印は不要です。）
- ② この志願票は機械で読み取るわけではありません。訂正内容が人の目で見判断できるようであれば、文字がマスからはみ出てもかまいません。

3 記入が終わったら

- ① 記入漏れや間違いがないか必ず確認してください。記入に当たって特に注意が必要な項目は、この表紙の裏面「チェック欄」にまとめてありますので、再度確認してください。
- ② 記入の済んだ志願票はコピーを取り、出願の際には原本を提出してください。出願受理後に、登録内容について確認を求めます（→p.26）ので、志願票のコピーは、大切に保管しておいてください。

志願票（第I面）の記入例 6 志願票の記入方法（→p.18-19）も参照してください。

*カタカナや数字は、下の例のとおり1マスに1字ずつ記入し、濁点及び半濁点も1マスを使用してください。

【例】 コマバアパート 1-34

コ	マ	ハ	ア	パ	ー	ト	1	3	4
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

数字記入例

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

① 高等学校等コード表（→p.55-72）からコードと学校名を記入してください。

④～⑦ 高等学校卒業見込み及び卒業者は、該当する項目を○で囲み、卒業者は、⑦に卒業した年を記入してください。外国の学校、在外教育施設、専修学校、大臣指定、高卒認定、大検、高専の者は記入しないでください。（→p.19）

⑨・⑩ 志願者全員が必ず記入してください。

⑬・⑭ 確実に連絡の取れる電話番号を、ハイフンを入れて左づめで記入してください。

⑮・⑯ 現住所の登録は郵便番号、カタカナ・数字等記入欄で行うので、特に番地などの数字の記入漏れがないように注意してください。

平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第I面

出願期間：平成28年9月27日（火）～10月7日（金）（10月7日消印有効）

① 高等学校等コード表より記入
1 3 4 4 0 G

② 出身学校名
西多摩

③ 志願する
希望する

④ 全日制 ○ 2 定時制 3 通信制

⑤ 希望する
1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 特別科

⑥ 卒業見込み ○ 2 卒業者

⑦ 卒業した年
28

⑧ 外国の学校 2 在外教育施設 3 専修学校等 4 文部科学大臣の指定した者 5 高卒認定試験 6 その他

⑨ カタカナ記入
コ マ バ ア パ ー ト

⑩ 漢字等記入
駒 場 太 郎

⑪ 性別
男 ○ 女

⑫ 生年
0 9 0 7 2 5

⑬ 電話番号（自宅）
0 3 - 3 4 6 5 - 8 6 0 0

⑭ 携帯電話（本人）
0 9 0 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8

⑮ 現住所
〒193-0922
東京都 駒場市
大学町5-19-23
青葉アパートA-2-103

② 障害等のある方で受験上の配慮を必要とする場合のみ○で囲んでください。（→p.15）（出願前申請を行った場合も○）

③ 記入しないでください。

⑧ 外国の学校、在外教育施設、専修学校、大臣指定、高卒認定、大検、高専の者のみ該当部分を○で囲んでください。（→p.19）

⑪ 該当する性別を○で囲んでください。

⑫ 該当する年号を○で囲み、年月日を記入してください。年月日が1けたの場合は、10のけたには「0」を記入してください。

提出時は、必ずこの用紙をはがしてください。
（この用紙は提出不要です。）

志願票（第Ⅱ面）の記入例 6 志願票の記入方法（→p.20-21）も参照してください。

【記入必須】

⑰ すべての教科の選択記入欄に、該当する選択肢を1つ選び、その記号を記入してください。

「地理歴史、公民」を受験する場合は、受験科目数（1科目又は2科目）を選択する必要があります。

「理科」を受験する場合は、A～Dの科目選択方法のうちから1つを選択する必要があります。

平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

※受験科目を受験するしないにかかわらず、必ず該当する選択肢を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選択肢	記入欄
国語	A…受験する X…受験しない	A
地理歴史 公民	A…1科目受験する B…2科目受験する X…受験しない	B
数学	A…受験する X…受験しない	X
理科	A…理科①を受験する B…理科②を1科目受験する C…理科①を受験、理科②を1科目受験する D…理科②を2科目受験する X…受験しない	D
外国語	A…受験する X…受験しない	A

※選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

★受験科目数の計算について
選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、最終的な受験科目数となります。
例えば、選択記入欄に「A、B、X、D、A」と記入した場合、受験科目数は、「X」以外のアルファベットが4つで、合計1科目となります。

【成績通知欄】の希望の有無に○をつけてください。

【成績通知】の希望の有無により
成績通知の希望の有無により
払込金額が異なります。
払込金額に間違いがないか確認してください。

教科数	希望する	希望しない
3教科以上	18,800円	18,000円
2教科以下	12,800円	12,000円

★必ず金融機関の受付窓口で払い込んでください。

★E「検定料受付証明書」に受付局日附印が押されていることを確認してください。

【該当者のみ】
「イヤホン不適合措置申請書」貼り付け欄

★リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないようしっかり貼り付けてください。（受験案内44ページ参照）

検定料払込書のうちEと表示された「検定料受付証明書」を、右の太枠の中に入れてはうっかり貼り付けてください。

【検定料受付証明書】に受付局日附印が押されていることを確認してください。

検定料等支払い済みに払込金額を必ず確認して下さい。
払込金額は、受験教科数と成績通知の希望の有無により4種類あります。
正しい払込書を使用して、払い込んでください。

受付局日附印の押されたE「検定料受付証明書」をしっかりと貼り付けてください。

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。

⑱ 「数学②」・「外国語」で別冊子試験問題の配付を希望する場合は「希望する」の文字を○で囲んでください。

別冊子試験問題は、出願時に希望しなければ、試験当日、配付されません。（→p.21）

【記入必須】

⑲ 該当する方を○で囲んでください。

成績通知の希望の有無により払込金額が異なります。払込金額に間違いがないか確認してください。

検定料等支払い済みに払込金額を必ず確認して下さい。
払込金額は、受験教科数と成績通知の希望の有無により4種類あります。
正しい払込書を使用して、払い込んでください。

受付局日附印の押されたE「検定料受付証明書」をしっかりと貼り付けてください。

【チェック欄】

次の項目は志願票記入に当たって特に注意が必要です。志願票記入後に以下の項目を再度確認して、チェック欄に「○（マル）」を付けてください。

項目	チェック欄
1 性別の記入漏れはありませんか。（記入欄→⑪）	
2 生年月日の記入漏れや間違いはありませんか。（記入欄→⑫）	
3 電話番号の記入漏れや間違いはありませんか。（記入欄→⑬⑭）	
4 現住所欄（カタカナ・数字等記入欄）で、番地などの記入漏れや間違いはありませんか。（記入欄→⑯）	
5 受験教科の選択記入欄の記入漏れや間違いはありませんか。（記入欄→⑰）	
6 成績通知欄の記入漏れや間違いはありませんか。（記入欄→⑲）	
7 払込金額は正しい金額で払い込まれていますか。（検定料受付証明書貼り付け欄）	
8 検定料受付証明書は所定の欄に貼り付けられていますか。（検定料受付証明書貼り付け欄）	

平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第I面

出願期間：平成28年9月27日（火）～10月7日（金）（10月7日消印有効）

※折らずに封筒に入れてください。

① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)							出身学校名							② 障害等のある方への 受験上の配慮 (別途申請が必要)			学校記入欄			
2														希望する			③ 整理番号 学校単位に一連番 号を右に詰めて記 入してください。			
1	2	3	4	5	6	7								8			9	10	11	12

出願資格 (p.19の「出願資格」 欄の記入方法を参照 してください。)	④ 課程	13			1 全日制			2 定時制			3 通信制					
		⑤ 学科	14							1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 左記以外の学科						
			⑥ 卒業見込者・卒業者の別	15			1 卒業見込者			2 卒業者			⑦ 卒業した年			
		S昭和			H平成			19			20			21		
⑧ その他の出願資格	22						1 外国の学校等 2 在外教育施設 3 専修学校高等課程 4 文部科学大臣の指定した者 5 高卒認定試験 大学入学資格検定 6 その他 高専3年修了									
	⑨ カタカナ記入 (姓と名の間を1マスあけ、濁点及び半濁点は1マスを使用してください。)															

氏名	⑩ 漢字等記入 (かい書で丁寧に記入してください。姓と名の間を1マスあけてください。)																																		
	23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40																																		
⑪ 性別												1 男			2 女			61																	
⑫ 生年月日												年			月			日																	
S昭和												H平成			62			63			64			65			66			67			68		

⑬ 電話番号 (自宅・下宿・寮)																							
⑭ 携帯電話 (本人)																							

現住所 (志願者全員が、必ず記入してください。)	⑮ 郵便番号																								
	⑯ カタカナ・数字等記入	都道府県																							
		市区郡																							
		町・丁目																							
★現住所の登録は⑮郵便番号、⑯カタカナ・数字等記入欄で行います。	番地																								
	アパート・マンション名																								
★1マスに1字ずつ記入し、濁点及び半濁点は1マスを使用してください。	号室																								
	様方																								
★1行に入らない場合は、区切りのよいところで改行してください。	都道																								
	府県																								
★知人宅等に下宿をしている場合は、「〇〇様方」まで必ず記入してください。	漢字等																								
	記入																								

第II面（裏面）も必ず記入してください。第I面の記入だけでは、志願票の記入を終えたことになりません。

平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

⑰受験教科

受験する・しないにかかわらず、必ず該当する選択肢を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選択記入欄	
国語	A…受験する X…受験しない	200
地理歴史 公民	A…1科目受験する B…2科目受験する X…受験しない	201
数学	A…受験する X…受験しない	202
理科	A…理科①を受験する B…理科②を1科目受験する C…理科①を受験、理科②を1科目受験する D…理科②を2科目受験する X…受験しない	203
外国語	A…受験する X…受験しない	204

※選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

★受験教科数の計算について

・選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。
 ・例えば、選択記入欄に上から順番に「A, B, X, D, A」と記入した場合、受験教科数は、「X以外のアルファベットが4つ」で、合計4教科となります。

【希望者のみ】⑱別冊子試験問題配付希望

次の科目の受験を希望する者のみ記入してください。

数学②のうち次の科目 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	希望する 205
外国語のうち次の科目 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	希望する 206

⑲成績通知	成績通知
【成績通知】の希望の有無に○をしてください。	1希望する 2希望しない 207

	払込金額	
	成績通知	
	希望する	希望しない
受験教科数 3教科以上	18,800円	18,000円
2教科以下	12,800円	12,000円

【該当者のみ】

「イヤホン不適合措置申請書」貼り付け欄

★リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないようしっかり貼り付けてください。（受験案内44ページ参照）

検定料払込書のうちEと表示された「検定料受付証明書」を、右の太枠の中にはがれないようしっかり貼り付けてください。

★必ず金融機関の受付窓口で払い込んでください。

★E「検定料受付証明書」に受付局日附印が押されていることを確認してください。

E 検定料受付証明書貼り付け欄

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。

↑ 払込みの際は、このミシン目で切り取ってから提出してください。

42 東京DT		払込取扱票 (振込通知書)		通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号		金額		千 百 十 万 千 百 十 円	
0	0	1	4	0	9
8	8	0	0	4	3
金額		1		8 8 0 0	

成績通知を希望する 3教科以上受験者用払込書

- ① 払込書は、受験教科数や成績通知希望の有無で異なります。**受験案内を参照し、「3教科以上受験」「成績通知を希望する」**で間違いがないか確認してください。
- ② **A～E**の※印の欄に**志願者本人の氏名等**を記入してください。
- ③ 必ず窓口で払い込み、**ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。**
- ④ **E「検定料受付証明書」**を**志願票**に貼り付けて、**D**などは控えとして保管しておいてください。

払込票	
口座記号番号	0 0 1 4 0 9
加入者名	3
金額	1 8 8 0 0
振込先	0
支店	B
支店	様

必ずお読み
ください!

払込金受入票 (振込依頼書)	
口座記号番号	0 0 1 4 0 9
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
金額	1 8 8 0 0
振込先	電信扱 銀行 支店 普通
志願者	No 1002629 支払期限2017年10月6日 C 1002629 (必ず氏名の前に打電してください) 住所・氏名(フリガナ) (電話番号)
料金	日 附 印
備考	日 附 印

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)	
口座記号番号	0 0 1 4 0 9
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
金額	1 8 8 0 0
振込先	電信扱 銀行 支店 普通
志願者	No 1002629 D 氏名(フリガナ) ※
料金	(消費税込み) 日 附 印
備考	日 附 印

振替払込受付証明書 (お客さま用)	
(志願者→郵便局→志願者) 銀行	
大学入試センター試験 検定料受付証明書	
No	1002629
払込金額	¥18,800-
口座記号番号	00140-9-880043
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
志願者氏名(フリガナ)	E
日 附 印	

(ゆうちょ銀行)

(承認番号 東証第1857号)

払込みの際は、このシシイン目で切り取ってから提出してください。

42	東京DT	払込取扱票 (振込通知書)		通常払込料金 加入者負担
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
001409		18800	00	
加入者名 振込先	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	料金	備考	
振込先	電信扱	銀行	支店 普通	
20	400001002629 300000018800			
通信欄	No 1002629 支払期限2017年10月6日 必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。			
志願者	住所(郵便番号) 氏名(フリガナ) (電話番号)	A 様	日附印	

この払込書は、機械で処理しますので、中央の欄を汚さないよう特にご注意ください。
裏面の注意事項をお読みください。〔ゆうちょ銀行〕〔承認番号東DT第707号〕
これより下部には何も記入しないでください。



記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないで提出してください。

払込票

口座記号番号	001409	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	金額
振込先	電信扱	銀行
金額	18800	支店 普通
志願者	No 1002629 氏名(フリガナ)	B 様
料金	日附印	
備考		

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号	001409	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	18800	00
振込先	電信扱	銀行	支店 普通
金額	1002629	支払期限2017年10月6日	C
志願者	(氏名(フリガナ)) 住所・氏名(フリガナ) (電話番号)	は必ず氏名の前に打電してください。	
料金	日附印		
備考			

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

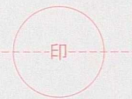
口座記号番号	001409	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	18800	00
振込先	電信扱	銀行	支店 普通
金額	1002629	支払期限2017年10月6日	D
志願者	(氏名(フリガナ))	E	
料金	消費税込 円	日附印	
備考			

振替払込受付証明書 (お客さま用)	
①ゆうちょ銀行 (志願者→郵便局→志願者) 銀行	
大学入試センター試験 検定料受付証明書	
No 払込金額	1002629 ¥18,800-
口座記号番号	00140-9-880043
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
志願者氏名(フリガナ)	E
日附印	
(承認番号 東証第1857号)	

(ゆうちょ銀行)

(ご注意)
 ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。
 また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
 ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
 課税相当額以上
 貼 付



大学入試センター指定金融機関
 口座名義 「独立行政法人大学入試センター 理事長 山本 廣基」
 (都市銀行)

みずほ銀行	東京営業部	普通	2611174	三井住友銀行	東京公務部	普通	3022701	りそな銀行	東京営業部	普通	2205125
三菱東京UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	6609956	埼玉りそな銀行	さいたま営業部	普通	3848222				

(地方銀行)

北海道銀行	東京支店	普通	0543781	青森銀行	東京支店	普通	1004331	みちのく銀行	東京支店	普通	3119548
秋田銀行	東京支店	普通	179072	北都銀行	東京支店	普通	2621656	荘内銀行	東京支店	普通	006758
山形銀行	東京支店	普通	0204161	岩手銀行	東京営業部	普通	1056221	東北銀行	東京支店	普通	3102045
七十七銀行	東京支店	普通	5247233	東邦銀行	東京支店	普通	144637	群馬銀行	東京支店	普通	0277495
足利銀行	東京支店	普通	2845039	常陽銀行	新宿支店	普通	1050927	筑波銀行	東京支店	普通	1001006
武蔵野銀行	東京支店	普通	012135	千葉銀行	東京営業部	普通	3236946	千葉興業銀行	東京支店	普通	2864431
東京都民銀行	渋谷中央支店	普通	4012785	横浜銀行	東京支店	普通	1218012	第四銀行	東京支店	普通	1101223
北越銀行	東京支店	普通	231895	山梨中央銀行	新宿支店	普通	263416	八十二銀行	東京営業部	普通	166241
北陸銀行	東京支店	普通	5002020	富山銀行	本店営業部	普通	0570807	北國銀行	東京支店	普通	091976
福井銀行	東京支店	普通	1087024	静岡銀行	東京営業部	普通	260966	スルガ銀行	東京支店	普通	164257
清水銀行	東京支店	普通	2072924	大垣共立銀行	東京支店	普通	313918	十六銀行	東京支店	普通	1077529
三重銀行	東京支店	普通	987459	百五銀行	東京営業部	普通	52250	滋賀銀行	東京支店	普通	154406
京都銀行	東京営業部	普通	3371501	近畿大阪銀行	本店営業部	普通	0241260	池田泉州銀行	東京支店	普通	1336551
南都銀行	東京支店	普通	0004033	紀陽銀行	東京支店	普通	76222	但馬銀行	本店営業部	普通	4068714
鳥取銀行	本店営業部	普通	0003873	山陰合同銀行	東京支店	普通	2135886	中国銀行	東京支店	普通	1103308
広島銀行	東京支店	普通	1045504	山口銀行	東京支店	普通	6053935	阿波銀行	東京支店	普通	1000391
百十四銀行	東京支店	普通	0338983	伊予銀行	東京支店	普通	1157009	四国銀行	東京支店	普通	0126006
福岡銀行	東京支店	普通	379943	筑邦銀行	本店営業部	普通	2041452	佐賀銀行	東京支店	普通	1088403
十八銀行	東京支店	普通	17563	親和銀行	東京支店	普通	0996156	肥後銀行	東京支店	普通	1114781
大分銀行	東京支店	普通	5014910	宮崎銀行	東京支店	普通	376	鹿児島銀行	東京支店	普通	173480
琉球銀行	東京支店	普通	36415	沖縄銀行	東京支店	普通	1152019	西日本シティ銀行	東京支店	普通	0511088

(志願者への注意事項)

※上記銀行の本・支店間及びゆうちょ銀行・郵便局を利用した場合の振込手数料は、受取人(大学入試センター)の負担となります。
 ※上記以外の金融機関(信用金庫、農協など)を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。

(銀行窓口担当者への注意事項)

※本様式の右から2枚は志願者へ返還してください。

この場所には、何も記載しないでください。

払込みの際は

↑ 払込みの際は、このミシン目で切り取ってから提出してください。

42	東京DT	払込取扱票 (振込通知書)		通常払込料金 加入者負担
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
00140	9	880043	18000	

成績通知を希望しない

3教科以上受験者用払込書

- ① 払込書は、受験教科数や成績通知希望の有無で異なります。受験案内を参照し、「3教科以上受験」「成績通知を希望しない」で間違いがないか確認してください。出願後に、「成績通知を希望する」に変更することはできません。
- ② A～Eの※印の欄に**志願者本人の氏名等**を記入してください。
- ③ 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ④ E「検定料受付証明書」を志願票に貼り付けて、Dなどは控えとして保管しておいてください。

必ずお読み
ください！

払込票

口座記号	00140	9	通常払込 料金加入 者負担
------	-------	---	---------------------

3
—
0
支店
B
様

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号	00140	9	880043
加入者名	ダイカクニューシセンター 大学入試センター		
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 18000		
振込先	電信扱	銀行	支店 普通
志願者	No 8002629 支払期限2017年10月6日 C 8002629 (は必ず氏名の前に打電してください。) 住所・氏名(フリガナ) * (電話番号)		
料金	円	日	
備考		附印	

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号	00140	9	880043
加入者名	ダイカクニューシセンター 大学入試センター		
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 18000		
振込先	電信扱	銀行	支店 普通
志願者	No 8002629 D 氏名(フリガナ) * (消費税込)		
料金	円	日	
備考		附印	

切り取る際は、このミシン目で切り取ってください。

振替払込受付証明書 (お客さま用)

(志願者→郵便局→志願者) 銀行	
大学入試センター試験 検定料受付証明書	
No	8002629
払込金額	¥18,000-
口座記号番号	00140-9-880043
加入者名	ダイカクニューシセンター 大学入試センター
志願者氏名(フリガナ)	* E
日 附 印	

(承認番号 東証第1857号)

(ゆうちょ銀行)

払込みの際は、このミシン目で切り取って提出してください。

42	東京DT	払込取扱票 (振込通知書)		通常払込料金 加入者負担
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
001409		18000	3	
加入者名 振込先	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	料 金	備考	
	電信抜 銀行 支店 普通			

20	500008002629 100000018000	
----	---------------------------	--

通信欄	No 8002629	支払期限2017年10月6日
	必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。	

住所(郵便番号) *	A 様 日 附 印
氏名(フリガナ) (電話番号)	

この払込票は、機械で処理しますので、中央の欄を消さないよう特にご注意ください。
裏面の注意事項をお読みください。【ゆうちょ銀行】(承認番号東京DT第707号)
これより下部には何も記入しないでください。



払込票

口座記号番号	001409	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	金額
	880043	千 百 十 万 千 百 十 円
	18000	3
振込先	電信抜 銀行 支店 普通	金額
	18000	3
No 8002629	B	金額
氏名(フリガナ)		千 百 十 万 千 百 十 円
		18000
		3
料 金	日 附 印	
備 考		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しくたさい。

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号	001409	加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
	880043	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
	18000		3
振込先	電信抜 銀行 支店 普通	No 8002629	C
		8002629	支払期限2017年10月6日
			は必ず氏名の前に打電してください。
料 金	日 附 印	住所・氏名(フリガナ)	
備 考		(電話番号)	

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号	001409	加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
	880043	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
	18000		3
振込先	電信抜 銀行 支店 普通	No 8002629	D
		8002629	氏名(フリガナ)
料 金	日 附 印	住所・氏名(フリガナ)	
備 考		(電話番号)	

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書 (お客さま用)

No 8002629	
振込金額 ¥18,000-	
口座記号番号	00140-9-880043
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
志願者氏名(フリガナ)	E
日 附 印	

(承認番号 東証第1857号)

(ゆうちょ銀行)

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
課税相当額以上
貼 付



大学入試センター指定金融機関

口座名義 「独立行政法人大学入試センター 理事長 山本 廣基」
(都市銀行)

みずほ銀行 東京営業部 普通	2611174	三井住友銀行 東京公務部 普通	3022701	りそな銀行 東京営業部 普通	2205125
三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 普通	6609956	埼玉りそな銀行 さいたま営業部 普通	3848222		

(地方銀行)

北海道銀行 東京支店 普通	0543781	青森銀行 東京支店 普通	1004331	みちのく銀行 東京支店 普通	3119548
秋田銀行 東京支店 普通	179072	北都銀行 東京支店 普通	2621656	荘内銀行 東京支店 普通	006758
山形銀行 東京支店 普通	0204161	岩手銀行 東京営業部 普通	1056221	東北銀行 東京支店 普通	3102045
七十七銀行 東京支店 普通	5247233	東邦銀行 東京支店 普通	144637	群馬銀行 東京支店 普通	0277495
足利銀行 東京支店 普通	2845039	常陽銀行 新宿支店 普通	1050927	筑波銀行 東京支店 普通	1001006
武蔵野銀行 東京支店 普通	012135	千葉銀行 東京営業部 普通	3236946	千葉興業銀行 東京支店 普通	2864431
東京都民銀行 渋谷中央支店 普通	4012785	横浜銀行 東京支店 普通	1218012	第四銀行 東京支店 普通	1101223
北越銀行 東京支店 普通	231895	山梨中央銀行 新宿支店 普通	263416	八十二銀行 東京営業部 普通	166241
北陸銀行 東京支店 普通	5002020	富山銀行 本店営業部 普通	0570807	北國銀行 東京支店 普通	091976
福井銀行 東京支店 普通	1087024	静岡銀行 東京営業部 普通	260966	スルガ銀行 東京支店 普通	164257
清水銀行 東京支店 普通	2072924	大垣共立銀行 東京支店 普通	313918	十六銀行 東京支店 普通	1077529
三重銀行 東京支店 普通	987459	百五銀行 東京営業部 普通	52250	滋賀銀行 東京支店 普通	154406
京都銀行 東京営業部 普通	3371501	近畿大阪銀行 本店営業部 普通	0241260	池田泉州銀行 東京支店 普通	1336551
南都銀行 東京支店 普通	0004033	紀陽銀行 東京支店 普通	76222	但馬銀行 本店営業部 普通	4068714
鳥取銀行 本店営業部 普通	0003873	山陰合同銀行 東京支店 普通	2135886	中国銀行 東京支店 普通	1103308
広島銀行 東京支店 普通	1045504	山口銀行 東京支店 普通	6053935	阿波銀行 東京支店 普通	1000391
百十四銀行 東京支店 普通	0338983	伊予銀行 東京支店 普通	1157009	四国銀行 東京支店 普通	0126006
福岡銀行 東京支店 普通	379943	筑邦銀行 本店営業部 普通	2041452	佐賀銀行 東京支店 普通	1088403
十八銀行 東京支店 普通	17563	親和銀行 東京支店 普通	0996156	肥後銀行 東京支店 普通	1114781
大分銀行 東京支店 普通	5014910	宮崎銀行 東京支店 普通	376	鹿児島銀行 東京支店 普通	173480
琉球銀行 東京支店 普通	36415	沖縄銀行 東京支店 普通	1152019	西日本シティ銀行 東京支店 普通	0511088

(志願者への注意事項)

- ※上記銀行の本・支店間及びゆうちょ銀行・郵便局を利用した場合の振込手数料は、受取人(大学入試センター)の負担となります。
- ※上記以外の金融機関(信用金庫、農協など)を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。
- (銀行窓口担当者への注意事項)
- ※本様式の右から2枚は志願者へ返還してください。

この場所には、何も記載しないでください。

払込みの際は、

↑ 払込みの際は、このミシン目で切り取ってから提出してください。

42	東京DT	払込取扱票 (振込通知書)		通常払込料金 加入者負担
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
00140	9	880043	12800	0

成績通知を希望する

2教科以下受験者用払込書

- ① 払込書は、受験教科数や成績通知希望の有無で異なります。受験案内を参照し、「2教科以下受験」「成績通知を希望する」で間違いがないか確認してください。
- ② A～Eの※印の欄に**志願者本人の氏名等**を記入してください。
- ③ 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ④ E「検定料受付証明書」を志願票に貼り付けて、Dなどは控えとして保管しておいてください。

必ずお読み
ください！

B

支店
様

払込票

口座記号	001409	通常払込 料金加入 者負担
金額	12800	

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号	001409	金額	12800
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	振込先	銀行 普通

振込先	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	金額	12800
振込先	銀行 普通	金額	12800

No	9002629	支払期限	2017年10月6日	C
(住所・氏名(フリガナ))	9002629	は必ず氏名の前に打電してください。		

料 金	日 付
備 考	附 印

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号	001409	金額	12800
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	振込先	銀行 普通

振込先	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	金額	12800
振込先	銀行 普通	金額	12800

No	9002629	D
(住所・氏名(フリガナ))	9002629	

料 金	日 付
備 考	附 印

振替払込受付証明書 (お客さま用)

振替払込受付証明書 (お客さま用)	
大学入試センター試験 検定料受付証明書	
No	9002629
払込金額	¥12,800-

口座記号番号	00140-9-880043
--------	----------------

加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
志願者氏名(フリガナ)	E

日 附 印

(ゆうちょ銀行)

(承認番号 東証第1857号)

払込済の際は、このシン目で切り取って提出してください。

各票の※印欄は、志願者において記載してください。

払込取扱票 (振込通知書)

42	東京DT	通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円
00140	9	880043	12800
加入者名 振込先	ダイ ガク ニュウ シ セン タ ー 大学入試センター	料金	備考
	電信扱	銀行	支店 普通

20	800009002629 500000012800
----	---------------------------

通信欄	No 9002629	支払期限2017年10月6日
	必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。	
住所(郵便番号)	A	
氏名(フリガナ)	日 附 印	
(電話番号)	様	

この払込書は、機械で処理しますので、中央の欄を消さないよう特にご注意ください。
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東DT第702号)

これより下部には何も記入しないでください。



払込票

口座記号番号	00140	9	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	ダイ ガク ニュウ シ セン タ ー 大学入試センター	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
	880043	12800	
振込先	ダイ ガク ニュウ シ セン タ ー 大学入試センター	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
	電信扱	銀行	支店
加入者名	No 9002629	振込先	電信扱
氏名(フリガナ)	B	銀行	支店
志願者	様	支店	
料 金	日 附 印		
備 考			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しく下さい。

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号	00140	9	加入者名	ダイ ガク ニュウ シ セン タ ー 大学入試センター	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
	880043	12800				
振込先	ダイ ガク ニュウ シ セン タ ー 大学入試センター	金額	千 百 十 万 千 百 十 円	振込先	電信扱	銀行
	880043	12800			支店	普通
加入者名	No 9002629	支払期限2017年10月6日	志願者	氏名(フリガナ)		
	9002629	は必ず氏名の前に打電してください。				
料 金	(電話番号)		料 金	日 附 印		
備 考			備 考			

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号	00140	9	加入者名	ダイ ガク ニュウ シ セン タ ー 大学入試センター	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
	880043	12800				
振込先	ダイ ガク ニュウ シ セン タ ー 大学入試センター	金額	千 百 十 万 千 百 十 円	振込先	電信扱	銀行
	880043	12800			支店	普通
加入者名	No 9002629	支払期限2017年10月6日	志願者	氏名(フリガナ)		
	9002629	は必ず氏名の前に打電してください。				
料 金	(消費税込)		料 金	日 附 印		
備 考			備 考			

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書 (お客さま用)

(志願者→郵便局→志願者)	
銀行	
大学入試センター試験 検定料受付証明書	
No	9002629
払込金額	¥12,800-
口座記号番号	00140-9-880043
加入者名	ダイガクニューセンター 大学入試センター
志願者氏名(フリガナ)	E
	日 附 印

(承認番号 東証第1857号)

(ゆうちょ銀行)

(ご注意)
 ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。
 また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
 ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこころ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
 課税相当額以上
 貼 付



大学入試センター指定金融機関
 □座名義 「独立行政法人大学入試センター 理事長 山本 廣基」
 (都市銀行)

みずほ銀行 東京営業部 普通	2611174	三井住友銀行 東京公務部 普通	3022701	りそな銀行 東京営業部 普通	2205125
三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 普通	6609956	埼玉りそな銀行 さいたま営業部 普通	3848222		

(地方銀行)

北海道銀行 東京支店 普通	0543781	青森銀行 東京支店 普通	1004331	みちのく銀行 東京支店 普通	3119548
秋田銀行 東京支店 普通	179072	北都銀行 東京支店 普通	2621656	荘内銀行 東京支店 普通	006758
山形銀行 東京支店 普通	0204161	岩手銀行 東京営業部 普通	1056221	東北銀行 東京支店 普通	3102045
七十七銀行 東京支店 普通	5247233	東邦銀行 東京支店 普通	144637	群馬銀行 東京支店 普通	0277495
足利銀行 東京支店 普通	2845039	常陽銀行 新宿支店 普通	1050927	筑波銀行 東京支店 普通	1001006
武蔵野銀行 東京支店 普通	012135	千葉銀行 東京営業部 普通	3236946	千葉興業銀行 東京支店 普通	2864431
東京都民銀行 渋谷中央支店 普通	4012785	横浜銀行 東京支店 普通	1218012	第四銀行 東京支店 普通	1101223
北越銀行 東京支店 普通	231895	山梨中央銀行 新宿支店 普通	263416	八十二銀行 東京営業部 普通	166241
北陸銀行 東京支店 普通	5002020	富山銀行 本店営業部 普通	0570807	北國銀行 東京支店 普通	091976
福井銀行 東京支店 普通	1087024	静岡銀行 東京営業部 普通	260966	スルガ銀行 東京支店 普通	164257
清水銀行 東京支店 普通	2072924	大垣共立銀行 東京支店 普通	313918	十六銀行 東京支店 普通	1077529
三重銀行 東京支店 普通	987459	百五銀行 東京営業部 普通	52250	滋賀銀行 東京支店 普通	154406
京都銀行 東京営業部 普通	3371501	近畿大阪銀行 本店営業部 普通	0241260	池田泉州銀行 東京支店 普通	1336551
南都銀行 東京支店 普通	0004033	紀陽銀行 東京支店 普通	76222	但馬銀行 本店営業部 普通	4068714
鳥取銀行 本店営業部 普通	0003873	山陰合同銀行 東京支店 普通	2135886	中国銀行 東京支店 普通	1103308
広島銀行 東京支店 普通	1045504	山口銀行 東京支店 普通	6053935	阿波銀行 東京支店 普通	1000391
百十四銀行 東京支店 普通	0338983	伊予銀行 東京支店 普通	1157009	四国銀行 東京支店 普通	0126006
福岡銀行 東京支店 普通	379943	筑邦銀行 本店営業部 普通	2041452	佐賀銀行 東京支店 普通	1088403
十八銀行 東京支店 普通	17563	親和銀行 東京支店 普通	0996156	肥後銀行 東京支店 普通	1114781
大分銀行 東京支店 普通	5014910	宮崎銀行 東京支店 普通	376	鹿児島銀行 東京支店 普通	173480
琉球銀行 東京支店 普通	36415	沖縄銀行 東京支店 普通	1152019	西日本シティ銀行 東京支店 普通	0511088

(志願者への注意事項)

※上記銀行の本・支店間及びゆうちょ銀行・郵便局を利用した場合の振込手数料は、受取人(大学入試センター)の負担となります。
 ※上記以外の金融機関(信用金庫、農協など)を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。
 (銀行窓口担当者への注意事項)
 ※本様式の右から2枚は志願者へ返還してください。

この場所には、何も記載しないでください。

↑ 払込みの際は、提出してください。

↑ 払込みの際は、このミシン目で切り取って提出してください。

42	東京DT	払込取扱票 (振込通知書)		通常払込料金 加入者負担							
口座記号番号		金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0	0	1	4	0	9	8	8	0	0	4	3
		1	2	0	0	0					

成績通知を希望しない 2教科以下受験者用払込書

- ① 払込書は、受験教科数や成績通知希望の有無で異なります。受験案内を参照し、「2教科以下受験」「成績通知を希望しない」で間違いがないか確認してください。出願後に、「成績通知を希望する」に変更することはできません。
- ② A～Eの※印の欄に志願者本人の氏名等を記入してください。
- ③ 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ④ E「検定料受付証明書」を志願票に貼り付けて、Dなどは控えとして保管しておいてください。

払込票	
口座記号番号	金額
001409	12000

必ずお読み
ください!

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

払込金受入票 (振込依頼書)	
口座記号番号	金額
001409	12000

加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	
振込先	電信扱	銀行 支店 普通
No	3002629	支払期限2017年10月6日 C
	3002629	は必ず氏名の前に打電してください。
住所・氏名(フリガナ)	※ (電話番号)	
料金	日	
備考	附	印

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)	
口座記号番号	金額
001409	12000

加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター	
振込先	電信扱	銀行 支店 普通
No	3002629	D
氏名(フリガナ)	※ (消費税込)	
料金	日	
備考	附	印

振替払込受付証明書 (お客さま用)	
(志願者→郵便局→志願者) 銀行	
大学入試センター試験 検定料受付証明書	

No	3002629
金額	¥12,000-
口座記号番号	00140-9-880043
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
志願者氏名(フリガナ)	※
日 附 印	

(承認番号 東証第1857号)

払込みの際は、このシシ目にて切り取って提出してください。

払込取扱票 (振込通知書) 通常払込料金 加入者負担

42	東京DT	口座記号番号	金額	通常払込料金加入者負担
00140	9	880043	12000	12000
加入者名	ダイガクニューシセンター	料金額	備考	
振込先	電信扱 銀行 支店 普通			

20 000003002629 300000012000

通信欄 No 3002629 支払期限2017年10月6日
 必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。

住所(郵便番号) 氏名(フリガナ) 電話番号

志願者 日附印

この払込書は、機械で処理しますので、中央の欄を汚さないよう特にご注意ください。
 裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東京DT第702号)
 これより下部には何も記入しないでください。



払込票

口座記号番号	001409	通常払込料金加入者負担
加入者名	ダイガクニューシセンター	金額
振込先	電信扱 銀行 支店 普通	12000

加入者名 大学入試センター

志願者 No 3002629 B 様

料金額 日附印

備考

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
 切り取らないでお出しください。

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号	001409	金額
加入者名	ダイガクニューシセンター	12000
振込先	電信扱 銀行 支店 普通	

加入者名 大学入試センター

志願者 No 3002629 C 様
 (必ず氏名の前に打電してください。)

料金額 日附印

備考

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号	001409	金額
加入者名	ダイガクニューシセンター	12000
振込先	電信扱 銀行 支店 普通	

加入者名 大学入試センター

志願者 No 3002629 D 様

料金額 日附印

備考

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書 (お客さま用)

振替払込金額 ¥12,000-

口座記号番号 00140-9-880043

加入者名 大学入試センター

志願者氏名(フリガナ) E

日附印

(承認番号 東京第1857号)

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
課税相当額以上
貼付

印

大学入試センター指定金融機関
口座名義 「独立行政法人大学入試センター 理事長 山本 廣基」
(都市銀行)

みずほ銀行	東京営業部	普通	2611174	三井住友銀行	東京公務部	普通	3022701	りそな銀行	東京営業部	普通	2205125
三菱東京UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	6609956	埼玉りそな銀行	さいたま営業部	普通	3848222				

(地方銀行)

北海道銀行	東京支店	普通	0543781	青森銀行	東京支店	普通	1004331	みちのく銀行	東京支店	普通	3119548
秋田銀行	東京支店	普通	179072	北都銀行	東京支店	普通	2621656	荘内銀行	東京支店	普通	006758
山形銀行	東京支店	普通	0204161	岩手銀行	東京営業部	普通	1056221	東北銀行	東京支店	普通	3102045
七十七銀行	東京支店	普通	5247233	東邦銀行	東京支店	普通	144637	群馬銀行	東京支店	普通	0277495
足利銀行	東京支店	普通	2845039	常陽銀行	新宿支店	普通	1050927	筑波銀行	東京支店	普通	1001006
武蔵野銀行	東京支店	普通	012135	千葉銀行	東京営業部	普通	3236946	千葉興業銀行	東京支店	普通	2864431
東京都市銀行	渋谷中央支店	普通	4012785	横浜銀行	東京支店	普通	1218012	第四銀行	東京支店	普通	1101223
北越銀行	東京支店	普通	231895	山梨中央銀行	新宿支店	普通	263416	八十二銀行	東京営業部	普通	166241
北陸銀行	東京支店	普通	5002020	富山銀行	本店営業部	普通	0570807	北國銀行	東京支店	普通	091976
福井銀行	東京支店	普通	1087024	静岡銀行	東京営業部	普通	260966	スルガ銀行	東京支店	普通	164257
清水銀行	東京支店	普通	2072924	大垣共立銀行	東京支店	普通	313918	十六銀行	東京支店	普通	1077529
三重銀行	東京支店	普通	987459	百五銀行	東京営業部	普通	52250	滋賀銀行	東京支店	普通	154406
京都銀行	東京営業部	普通	3371501	近畿大阪銀行	本店営業部	普通	0241260	池田泉州銀行	東京支店	普通	1336551
南都銀行	東京支店	普通	0004033	紀陽銀行	東京支店	普通	76222	但馬銀行	本店営業部	普通	4068714
鳥取銀行	本店営業部	普通	0003873	山陰合同銀行	東京支店	普通	2135886	中国銀行	東京支店	普通	1103308
広島銀行	東京支店	普通	1045504	山口銀行	東京支店	普通	6053935	阿波銀行	東京支店	普通	1000391
百十四銀行	東京支店	普通	0338983	伊予銀行	東京支店	普通	1157009	四国銀行	東京支店	普通	0126006
福岡銀行	東京支店	普通	379943	筑邦銀行	本店営業部	普通	2041452	佐賀銀行	東京支店	普通	1088403
十八銀行	東京支店	普通	17563	親和銀行	東京支店	普通	0996156	肥後銀行	東京支店	普通	1114781
大分銀行	東京支店	普通	5014910	宮崎銀行	東京支店	普通	376	鹿児島銀行	東京支店	普通	173480
琉球銀行	東京支店	普通	36415	沖縄銀行	東京支店	普通	1152019	西日本シティ銀行	東京支店	普通	0511088

〈志願者への注意事項〉

※上記銀行の本・支店間及びゆうちょ銀行・郵便局を利用した場合の振込手数料は、受取人（大学入試センター）の負担となります。

※上記以外の金融機関（信用金庫、農協など）を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。

〈銀行窓口担当者への注意事項〉

※本様式の右から2枚は志願者へ返還してください。

この場所には、何も記載しないでください。